

令和 8 年度

八頭庁舎女性職員用シャワー室設置工事

図 面 リ ス ト		
A-01	図面リスト	
A-02	建築改修工事仕様書（1）	
A-03	建築改修工事仕様書（2）	
A-04	配置図、敷地案内図、 建築物概要、工事概要、概略工程表	1/400
A-05	1階平面図、2階平面図	1/100
A-06	平面詳細図－1	1/30
A-07	天井伏図－1	1/30
A-08	平面詳細図－2、天井伏図－2	1/30
A-09	展開図、部分詳細図、建具表	1/50、1/20、1/50

図 面 リ ス ト		
E-01	電気設備工事特記仕様書（1）	
E-02	電気設備工事特記仕様書（2）	
E-03	電灯設備 配線図	1/50
E-04	コンセント 1～2階配線図	1/50
E-05	コンセント・火災報知設備 2～3階配線図	1/50
M-01	機械設備工事特記仕様書（1）	
M-02	機械設備工事特記仕様書（2）	
M-03	換気設備 ダクト図	1/50
M-04	衛生設備 配管図	1/50



6

内装改修工事

1

他の部位との取合い等
【6. 1. 3】

2

既存床の撤去及び下地補修
【6. 2. 2】

3

既存壁の撤去及び下地補修
【6. 3. 2】

8

造作用単板積層材
【6. 5. 2】

12

軽量鉄骨天井下地
【6. 6. 2～4】

13

軽量鉄骨壁下地
【6. 7. 3. 4】
【6. 6. 7. 1】

14

ビニル床シート
【6. 8. 2. 3】

16

接着剤
【6. 5. 3. 4】
【6. 8. 2】
【6. 9. 3】
【6. 11. 4. 5】

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ○図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げとする ○図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示

ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ（接着剤共）
下地モルタル共（○図示の範囲 ・撤去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目視し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修部の端部より1 m程度 ・
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（仕上げ厚又は全厚25mmを超える場合の処理 ※図示 ○ LGS下地の内壁の撤去 ）
・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 防虫処理 含水率 断伐材等の適用
・有り
（加工 ・天然木加工 ・塗装加工）
・無し（ ）
○ JAS 0701以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 防虫処理の適用 含水率 断伐材等の適用
女性用シャワー室 ±20 ○有り
（加工 ・天然木加工 ○塗装加工）
・無し（ ）
○適用しない
・ JAS 3079に基づく直交集成材（CLT）
施工箇所 品名 強度等級（曲げ性能） 種別 接着性能（使用環境） 樹種名 寸法(mm) 断伐材等の利用
・異等級構成直交集成材
・同一等級構成直交集成材
・ A 種構成
・ B 種構成
・ C
野縁等の種類
屋外（※ 25形 ・ 19形） 屋内（※ 19形 ・ 25形）
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・
野縁の間隔 ・ 図示 ・
既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない
あと施工アンカーの確認試験
・ 行う（試験箇所数 ※屋内の場合 当該間において3箇所 ・ ）
（確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1)の）による ・
・ 行わない
・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・
・ 天井のふところ高が1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(8)による ・ 図示
・ 天井 のふところ高が3.0mを超える場合
補強方法 ※ 図示 ・
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 高さが6 mを超える天井、それ以外は図示 ・
補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年 国土交通省告示第7171号）第3第2項第2号に適合させる。

スタッド、ランナの補強
※改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ 図示（配管バックの復旧）
スタッドの高さが5.0 mを超える場合 ※ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による ・

種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考
※FS ○断地
・ マーブル柄
・ 柄柄
・ 帯電防止
・ 耐動荷重性
○防汚性 ※2.0
・
特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 ～1×10 Ω程度
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
※ F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示 ・

29

せっこうボードその他のボード及び合板張り
【6. 13. 2. 3】

27

タイル張り
【6. 16. 2～4】

種 類 JIS 記号 厚さ(mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板 G HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 中質木毛セメント板 G MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 普通木毛セメント板 G NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 硬質木片セメント板 G HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
・ 普通木片セメント板 G NF ・ 30 ・
○ びい離カルシウム板 0.8FK タイプ 2（無石綿） ○6 ・ 8
1.0FK
・ ロックワール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ（・ 9 ・ 12 ・ ） ・ 不燃
・ 凹凸タイプ（・ 12 ・ 15 ・ 19 ・ ） ・ 不燃
・ ロックワール吸音ボード1号 RW-B ・ 25 ・
・ グラスワール吸音ボード32K GV-B ・ 25（ガラスクロス系） ・
・ セっこうボード GB-R ※12.5（不燃） ・ 15（不燃）
・ 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5（不燃） 化粧無（下地張り用）
化粧有（トラバーチン模様）
○ シーリングせっこうボード GB-S 12.5（・ 不燃 ○準不燃）
・ 強化せっこうボード GB-F ・ 12.5（不燃） ・ 15（不燃）
・ セっこうラスボード GB-L 9.5
・ 化粧せっこうボード（木目） GB-D 12.5（不燃）幅 440mm 程度
模様（・ 柱目 ・ 板目）専用下地材有り
○ 化粧 せっこうボード（トラバーチン模様） GB-D 9.5（準不燃）
・ 普通合板 G 表板の樹種
生地、透明塗料塗り（※ラフ程度 ・ ）
不透明塗料塗り（※しな程度 ・ ）
板面の品質（ ）
厚さ(mm)（ ）
接着の程度 ・ 1類 ・ 2類
・ 防虫処理
・ 天然木化粧合板 G 樹種名（ ）
接着の程度 ・ 1類 ・ 2類
厚さ(mm)（ ）
・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理
・ 特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法（・ オーバーレイ・プリント・塗装）
表面性能（ ）タイプ
接着の程度 ・ 1類 ・ 2類
厚さ(mm)（ ）
・ 防虫処理
○メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による（※ 1.2 ○3.0 ）
・ ポリエステル樹脂化粧板
・ ミディアムデンシティファイバーボード G MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
・ 単板張りパーティクルボード G ・ 無研磨VN ・ 研磨板VS
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
・ 化粧パーティクルボード G ・ 単板オーバーレイ DV
・ プラスチックオーバーレイ DO
・ 塗装 DC
・ 10（難燃） ・ 12（難燃） ・
・ ハードボード（素地） G HB ・ 未研磨板（・ スタンダード ・ テンパード RN）
・ 研磨板（・ スタンダード ・ テンパード RS）
・ ハードボード（化粧） G ・ 内装用 DI ・ 外装用 DE
・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・
・ インシュレーションボード G IB A級（・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・ ）
・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・
天井のボード類（ロックワール化粧板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
合板類の張付け ・ A種 ・ B種
せっこうボードの目地工法 ※仕上表による ・
伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内こと ・ 図示 ・ ）
床タイル以外（・ 図示 ○ 設けない）
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
施工 主な用途 形状寸法 吸水率による区分 防 色 再生材の 耐汚害性 耐汚 備考
箇所 による区分 (mm) I 類 II 類 III 類 Ⅳ 類 Ⅴ 類 Ⅵ 類 Ⅶ 類 Ⅷ 類 Ⅸ 類 Ⅹ 類 Ⅺ 類 Ⅻ 類 Ⅼ 類 Ⅽ 類 Ⅾ 類 Ⅿ 類 ⅰ 類 ⅱ 類 ⅲ 類 ⅳ 類 ⅴ 類 ⅵ 類 ⅶ 類 ⅷ 類 ⅸ 類 ⅹ 類 ⅺ 類 ⅽ 類 ⅾ 類 ⅿ 類
女子便所 100角 ○ ・ ・ ○ ・ ・ ○ ○ ・ ・ ・ ○ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
耐滑り性：JIS A 1509～12（セラミックタイル試験方法～第12部：耐滑り性試験方法）で規定するC.S.R値は0.4～1.0とする。
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・ 行う ※行わない
見本焼き ・ 行う ※行わない
壁タイル張りの工法
内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
既成調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する貼付け用モルタルとして、セメント、細骨材、湿相剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

7

塗装改修工事

1

材料
【7. 1. 3】

2

下地調整
素地こしらえ
【7. 2. 1～7】

4

仕上げ塗料塗り
【7. 5. 2～7. 12. 2】

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・ 次の箇所を除き防火材料とする（・ ）
塗替え種別がR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
下地調整、素地こしらえ
下地面の種類 塗替え 新規 ひび割れ部の補修
下地調整の種類 素地こしらえの種類
木部 不透明塗料塗りの場合 ※R B種 ・ ※A種 ・ B種
透明塗料塗りの場合 ・ ・ A種 ※B種
鉄鋼面 ※R B種 ・ C種
鉄鋼面（DP） ※R B種 ・ B種
垂れめっき面（鋼製建具等以外） ※R B種 ・ A種 ・ B種
垂れめっき面（鋼製建具等） ※R B種 ・ ※B種
モルタル面、せっこうプaster面 ※R B種 ・ A種 ※B種 ・ 行う
コンクリート面、ALCパネル面（DP以外） ※R B種 ・ ※B種 ・ 行う
押出成形セメント板面（DP） ・ R A種 ・ R B種 ・ 鋼製建具 ・ B種 ・ 行う
コンクリート面（DP） ・ R B種 ・ R C種 ※A種 ・ 行う
せっこうボード面、その他ボード面 ※R B種 ・ A種 ・ B種
塗装の種類 塗装面 工程
塗替え 新規
・ 合成樹脂塗合ベント塗り（SOP） 屋外木部 ※B種 ・ ※A種 ・
屋内木部 ※B種 ・ ※B種 ・
鉄鋼面 ※B種 ・ A種 ※B種
垂れめっき面（鋼製建具以外） ※B種 ・ ※B種 ・
垂れめっき面（鋼製建具） ※A種 ・ ※B種 ・
・ クリアラッカー塗り（CL） 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り（NAD） 屋内のコンクリート面 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
・ 耐熱性塗料塗り（DP） コンクリート面 ・ A-1 種 ・ A-1 種
上塗り等級 ・ B-1 種 ・ B-1 種
・ 1級 ・ C-1 種 ・ C-1 種
・ 2級
・ 3級
・ つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G） 屋内木部 ※B種 ・ ※A種 ・
屋内鉄鋼面 ※B種 ・ ・ A種 ※B種
屋内垂れめっき面 ※A種 ・ ※A種 ・ B種
コンクリート面 ※B種 ・ ・ A種 ※B種
モルタル面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種
せっこうプaster面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種
せっこうボード面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP） ※B種 ・ ・ A種 ※B種
○ウレタン樹脂ニス塗り（UC） ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
・ スティン塗り ・ ヒグメントスティン塗り
・ オイルスティン塗り（OS）
・ 木材保護塗料塗り（WP） ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしめ
※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め
※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする ・

10

その他

9

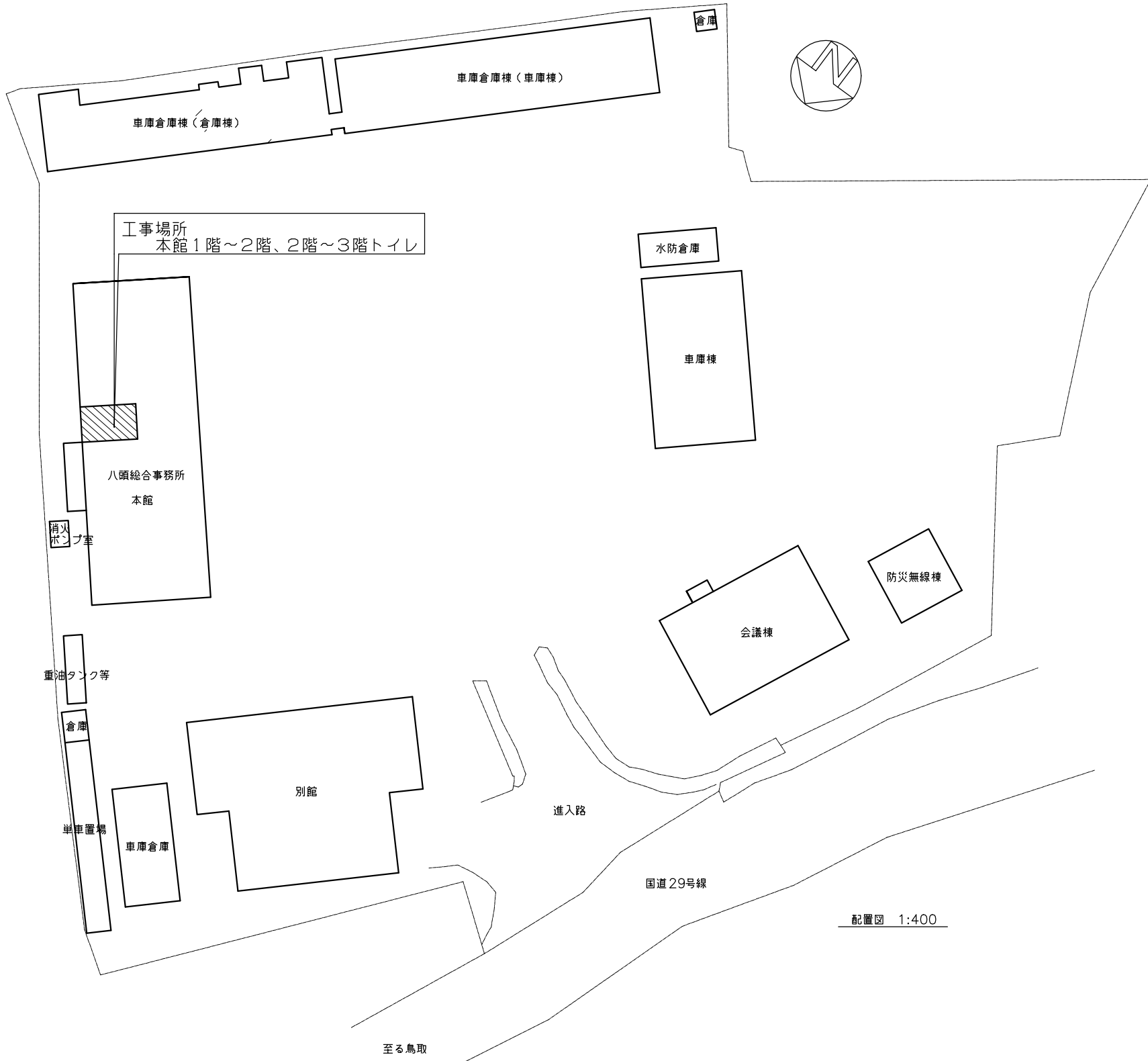
天井見切り縁等

壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材種
・ アルミニウム既製品 ○ビニル既製品

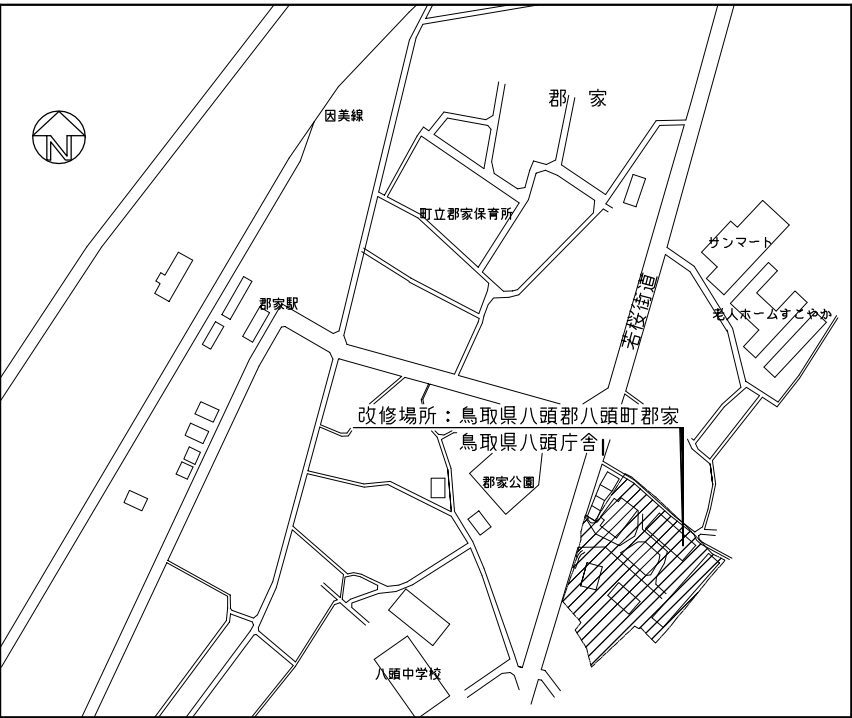
鳥取県
令和8年度
J2600206
東部建築住宅
事務所

株式会社 桜や 建築設計工房
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第05-1220号

工事名称 八頭庁舎女性職員用シャワー室設置工事
図面名称 建築改修工事仕様書（2） 図面番号 A-03
一級建築士 来田 信浩
大田登録 第222819号



【敷地案内図】

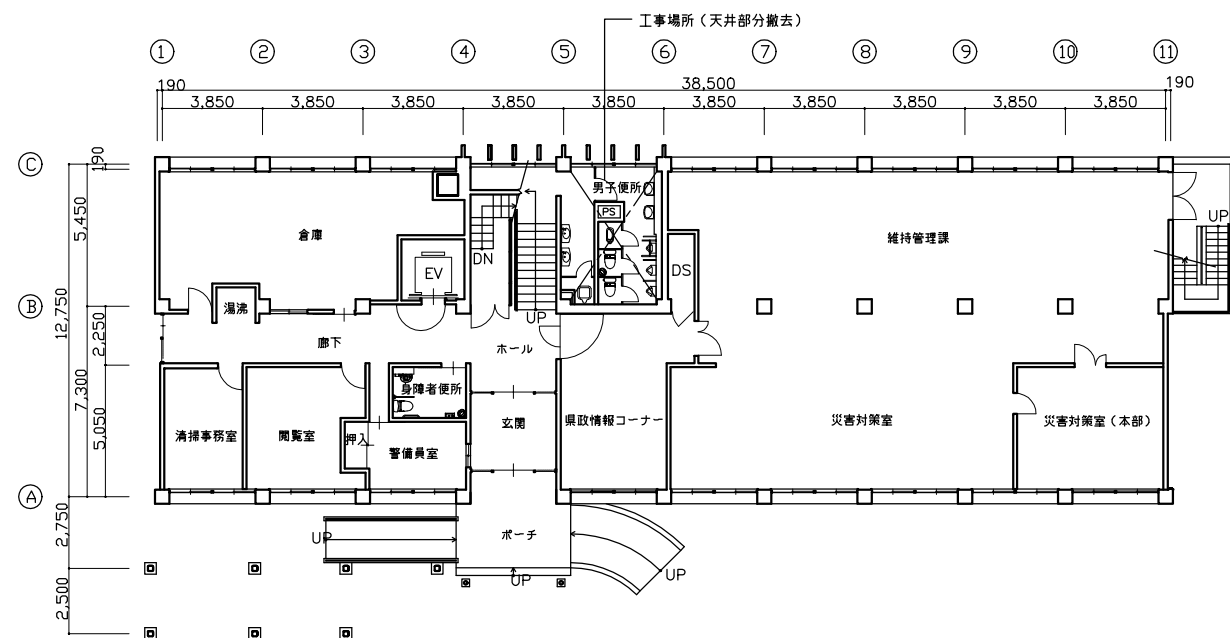


【概略工程表】

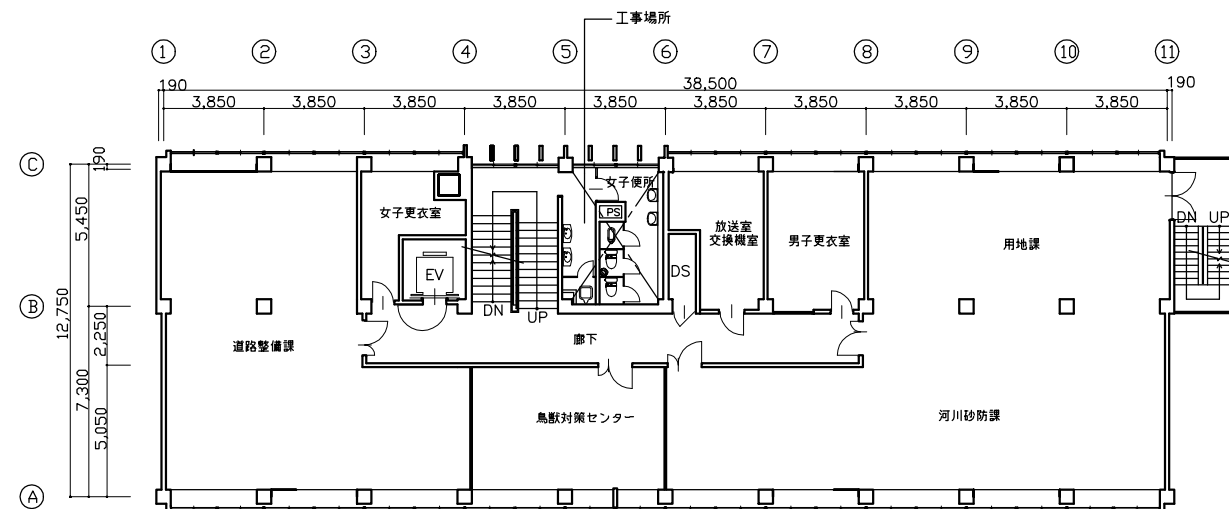
	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目
準備			
シャワーユニット	納期：1ヶ月		
SK取外し パーテーション撤去			
床嵩上げ 天井取外し 配管場バック撤去	床養生期間		
足場		組立	解体
配管工事 給湯器設置 シャワーユニット接続 床仕上げ、天井復旧 パーテーション新設 配管場バック復旧			
SK取付け			
撤去・取付け			

※概略工程表は参考であり、請負者の施工計画を拘束するものではない

建築物概要	
工事場所	鳥取県八頭郡八頭町郡家 鳥取県八頭庁舎 本館
主要用途	庁舎
工事種別	改修
構造・規模	RC造 3階建て
延床面積	1,406.13m ²
工事概要	
1. 階段・2階～3階の踊り場にある女子化粧室にシャワー室を設置 2. 上記に伴い、女子化粧室のSKを、女子便所に移設 3. 床レベルを踊り場レベルに合わせる 4. 脱衣スペースとなるため、間仕切扉を新設 5. 換気設備、照明器具の位置変更に伴う、天井の張替え 6. 設備配管工事に伴う下階の男子便所の天井の取外し・再取付け	

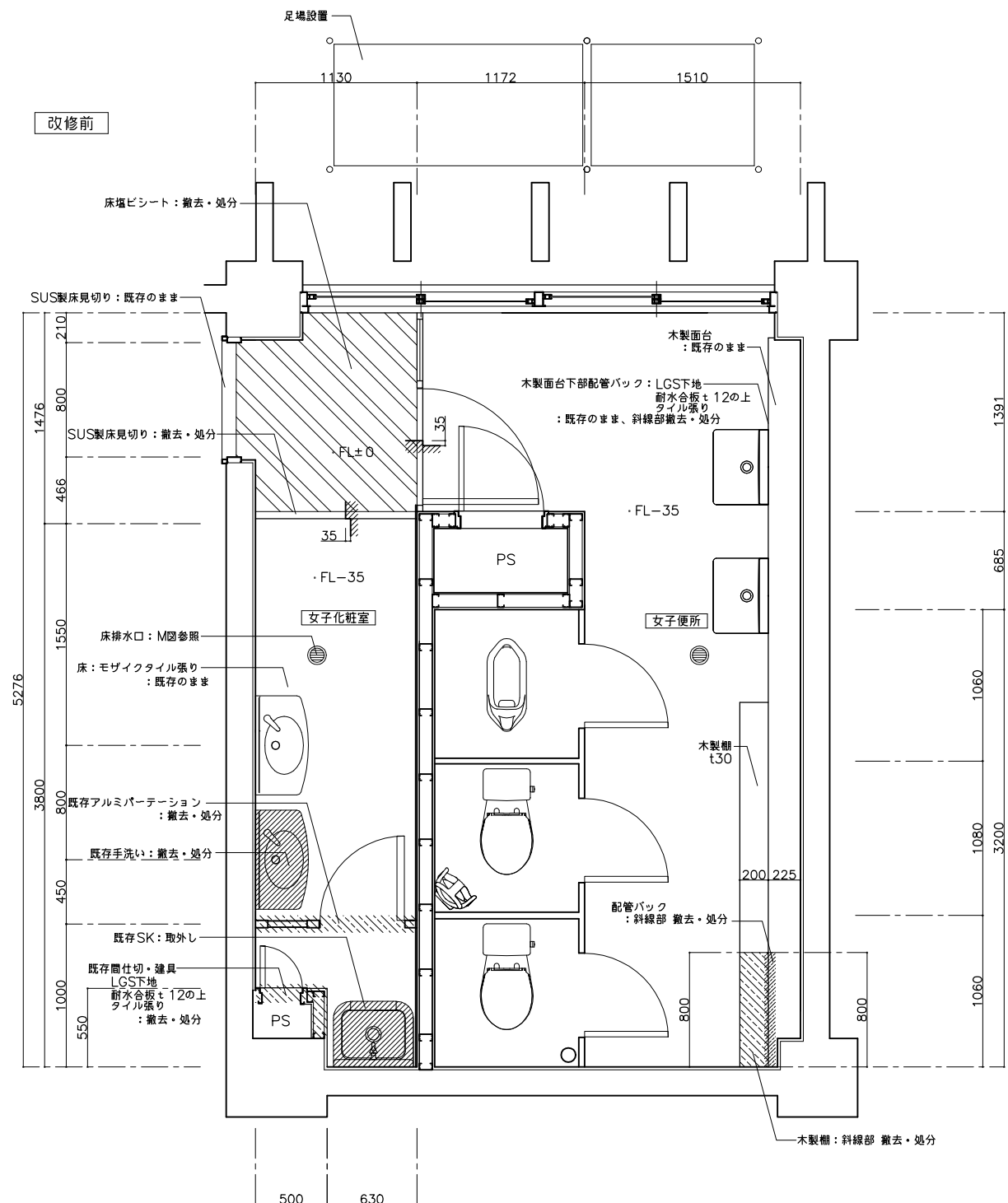


本館 1階 S=1/100

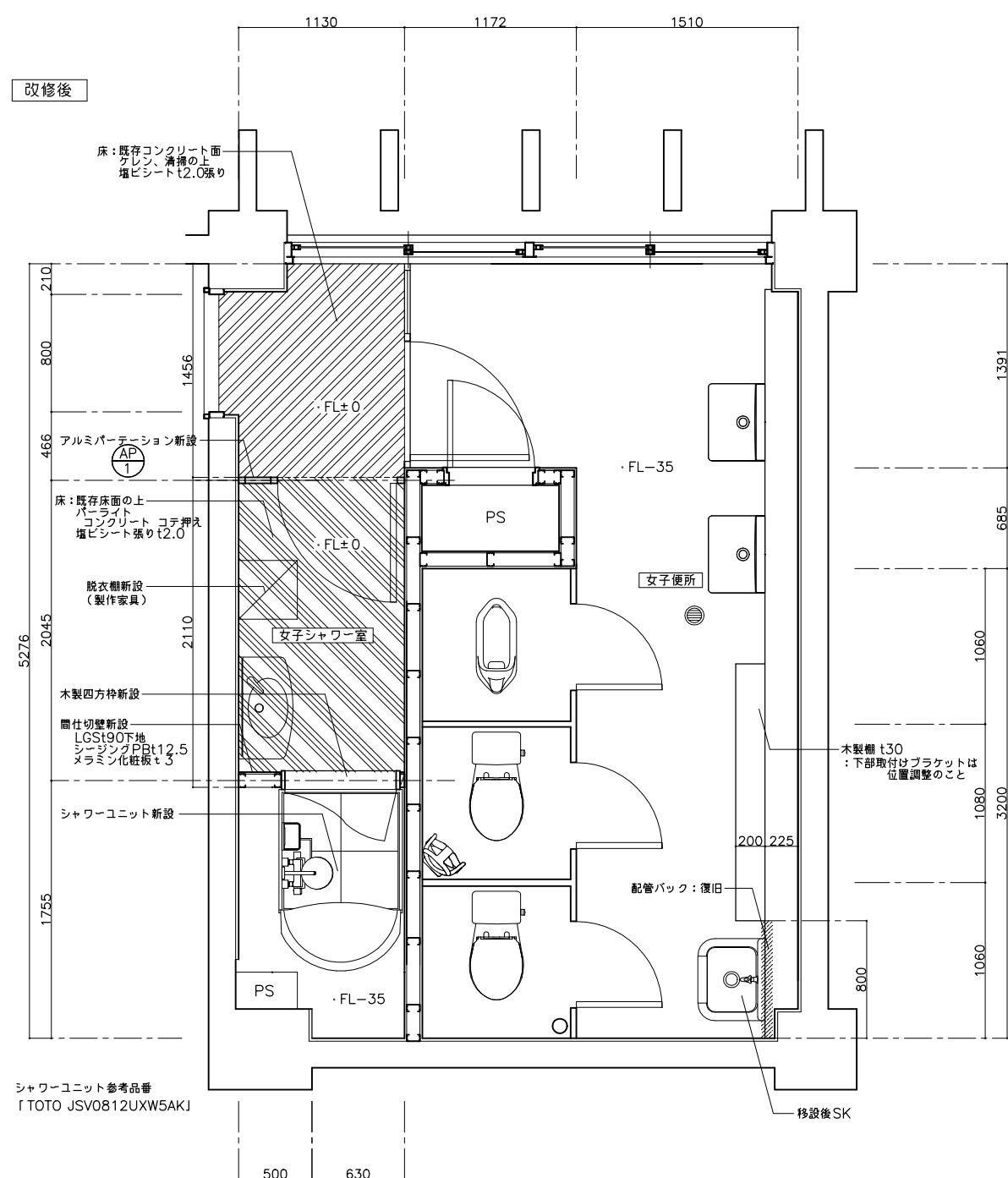


本館 2階 S=1/100

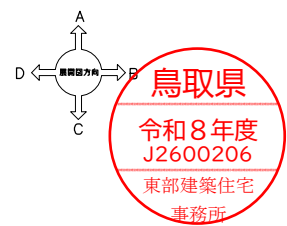


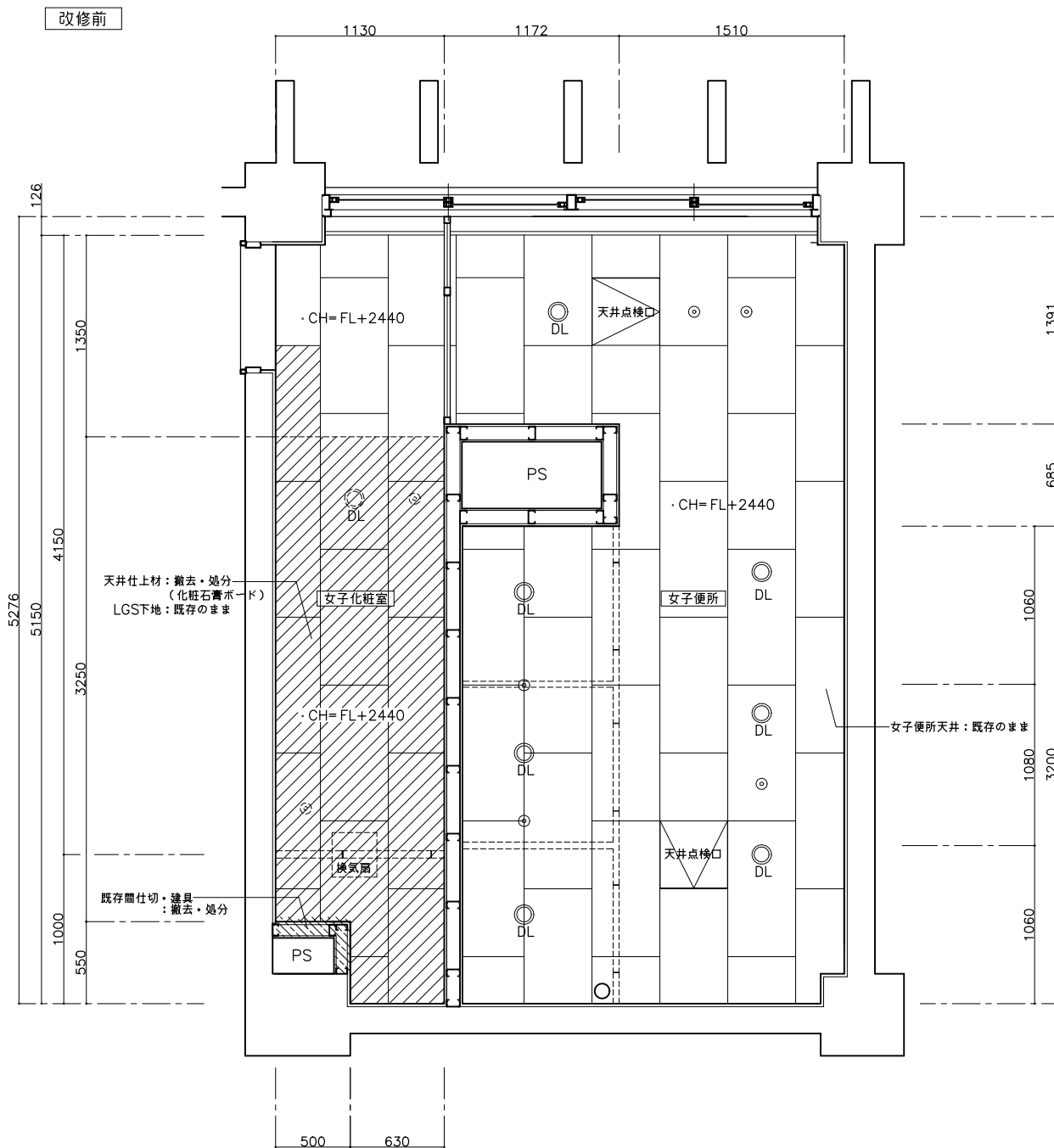


2～3階女子便所既存平面詳細図兼撤去図

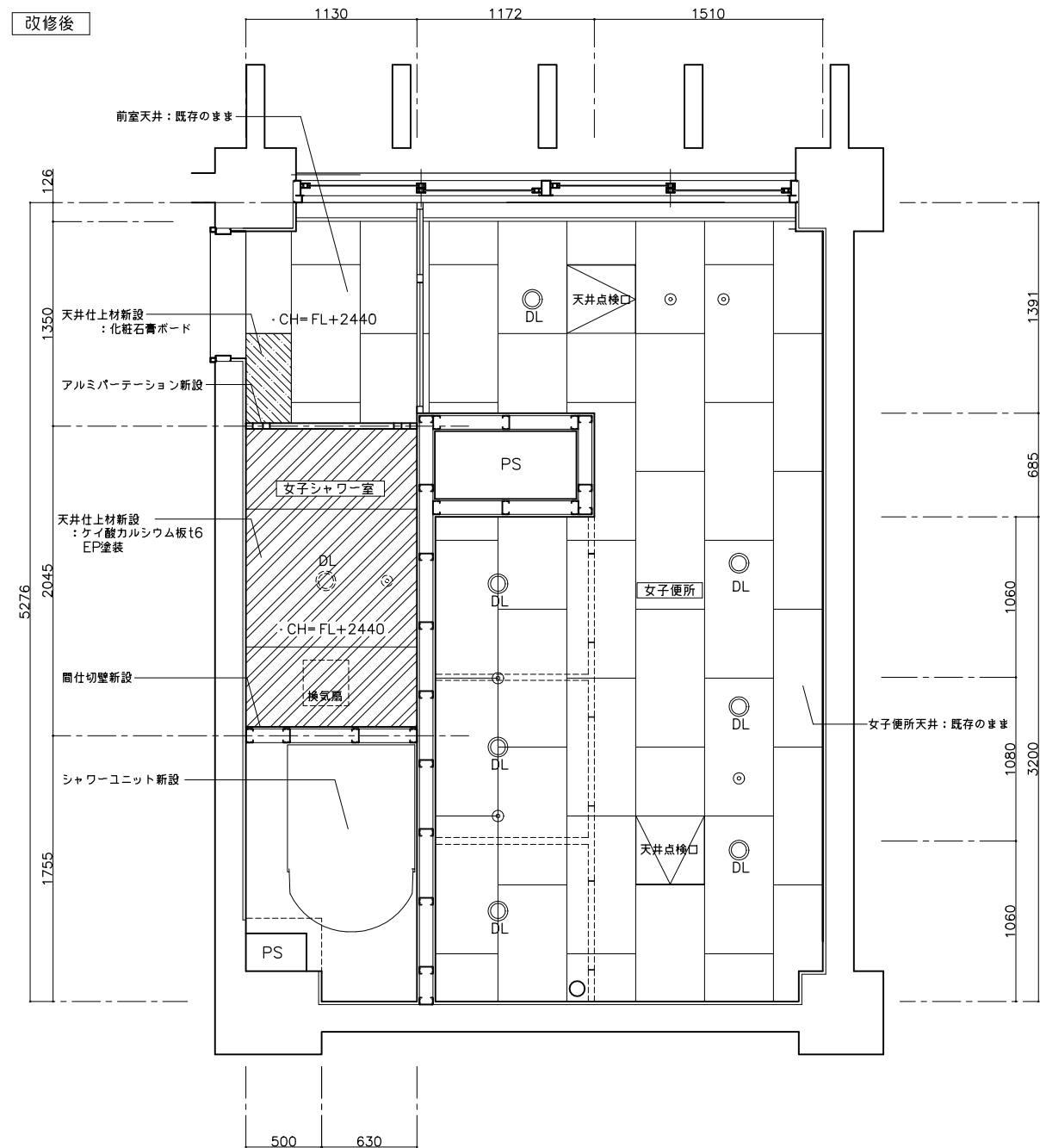


2～3階女子便所改修後平面詳細図



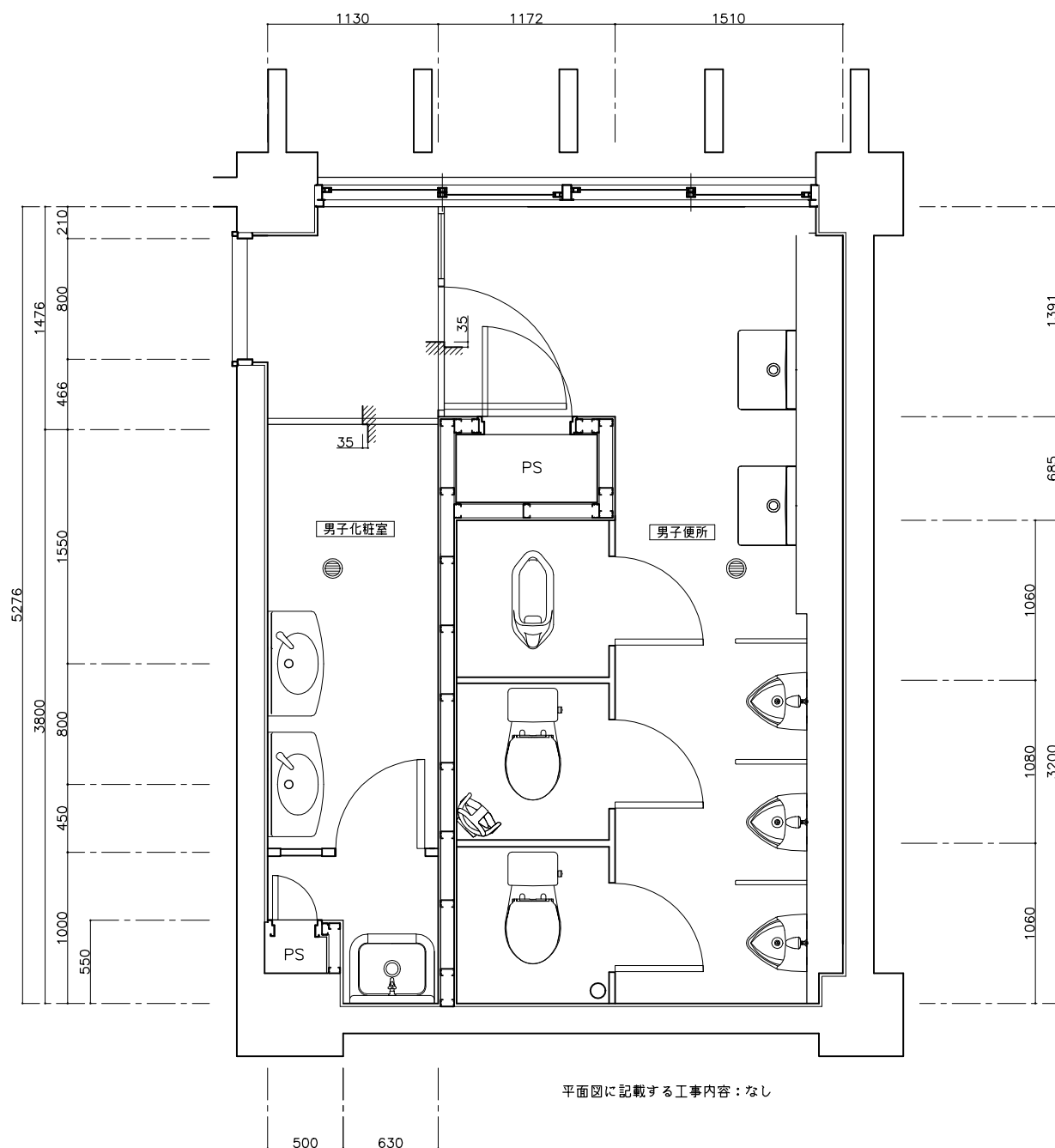


2～3階女子便所既存天井伏図兼撤去図

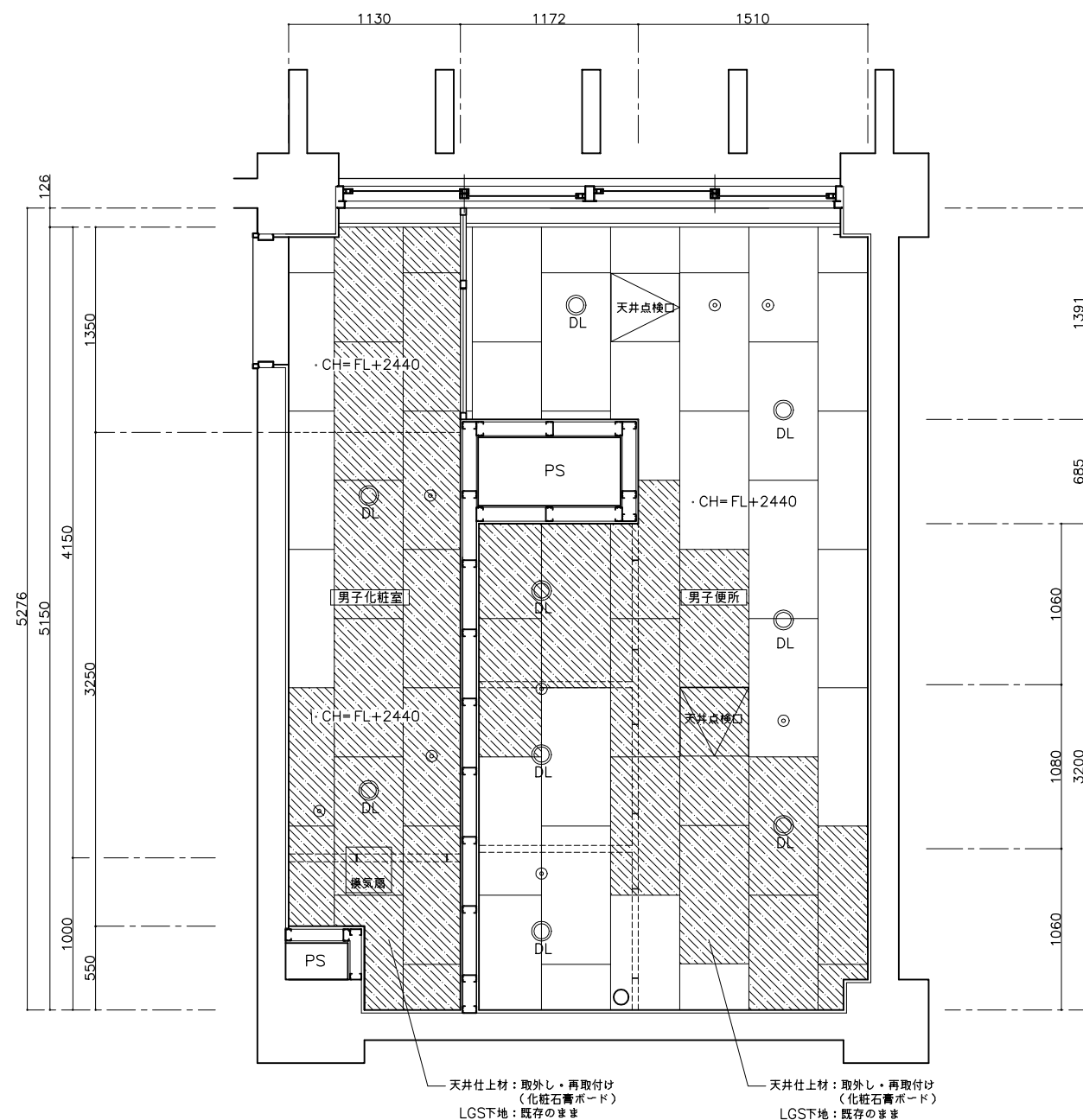


2～3階女子便所改修後天井伏図





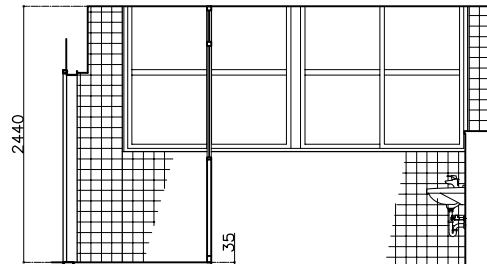
1～2階男子便所平面図（参考図）



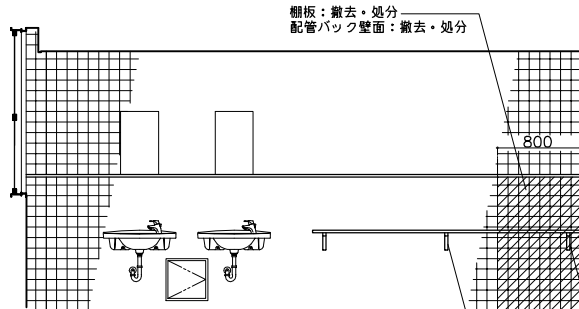
1～2階男子便所天井伏図



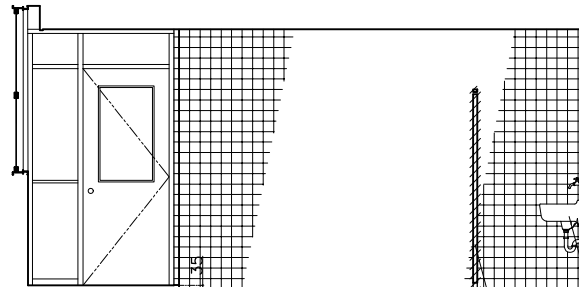
改修前



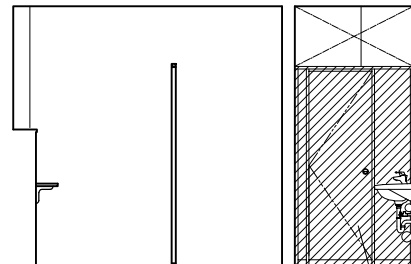
A 面
(前室～女子便所)



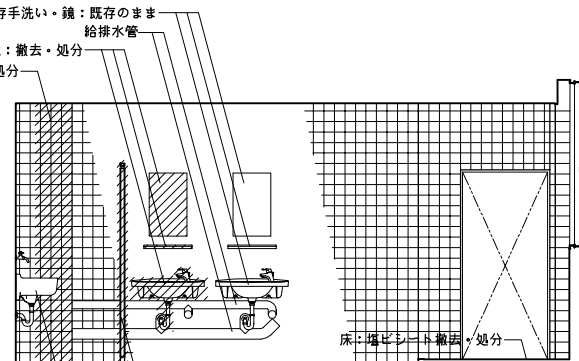
B 面
(女子便所)



B 面
(前室～女子化粧室)



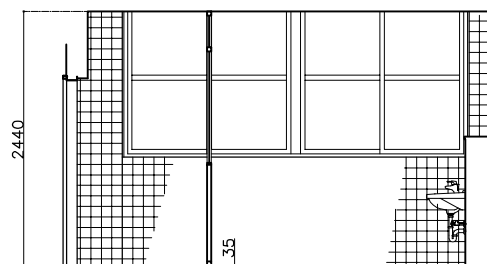
C 面
(女子便所～女子化粧室)



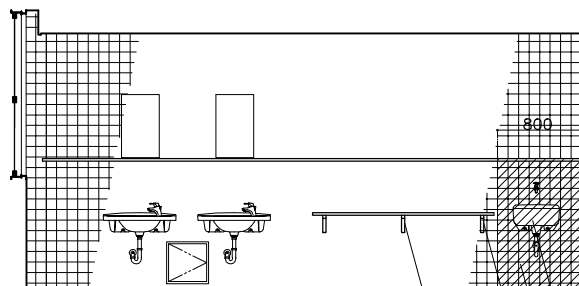
D 面
(女子化粧室～前室)



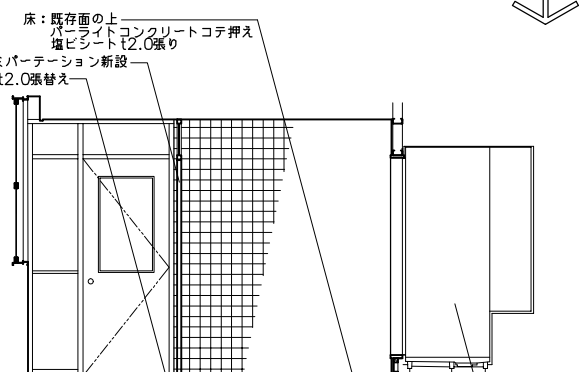
改修後



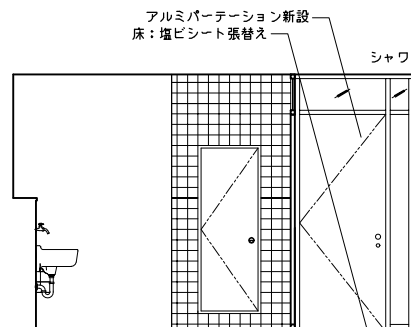
A 面
(前室～女子便所)



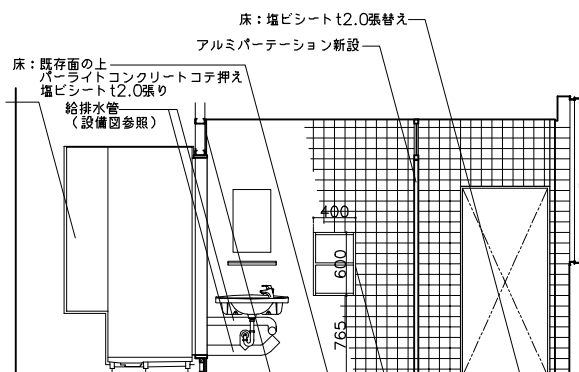
B 面
(女子便所)



B 面
(前室～女子シャワー室)



C 面
(女子便所～前室)



D 面
(女子シャワー室～前室)

建具表			
記号・名称	開き戸付きアルミ製パーテーション		
寸法 (W×H)	厚さ	1130×2440	40
姿図			
設置場所	箇所数	女子シャワー室	1
仕様	アルミ製フレーム、メラミン化粧板		
	透明ポリカーボネード (欄間部)		
付属金物	レバーハンドル		
	表示鍵		

A2→A3 (70.7%)

株式会社 桜や 建築設計工房
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第05-1220号

工事名称 八頭庁舎女子職員用シャワー室設置工事
図面名称 展開図 1/50、部分詳細図 1/20、建具表 1/50
図面番号 A-09

一級建築士 来田 信浩
大田登録 第222819号

鳥取県
令和8年度
J2600206
東部建築住宅
専務

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所

八頭郡八頭町郡家 地内

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	八頭庁舎 本館	RC造	3	1,406.13	() 項	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目

(印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
電灯設備	○							
動力設備								
電熱設備								
雷保護設備								
受変電設備								
電力貯蔵設備								
発電設備								
構内情報通信網設備								
構内交換設備								
情報表示設備								
映像・音響設備								
拡声設備								
誘導支援設備								
テレビ共同受信設備								
監視カメラ設備								
駐車場管制設備								
防犯・入退室管理設備								
火災報知設備	○							
中央監視制御設備								
医療関係設備								
構内配電線路								
構内通信線路								
テレビ電波障害防除設備								
機械設備工事								
建築工事								

4 設備概要

(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

印の付いたものを適用する。

	項目	特記事項
電灯設備	電気方式 非常用照明器具 誘導灯	幹線 ● 単相3線式100／200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● 電源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
動力設備	電気方式	幹線 ● 単相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100／200V 分岐 ● 単相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)
雷保護設備	受雷部 避雷導線 接地極	● 突針 ● 棟上げ導体 ● その他金属体 () ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受変電設備	電気方式 契約電力 設備方式 機器類	高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新設工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 屋内形 ● 屋外形 ● キュービクル式配電盤 (● P形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 kVA、単相 kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB

II. 特記仕様

1 一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、印の付いたものによる。

● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) (令和7年版) (以下、「標準図」という。)

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和7年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。

(3) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

(1) 項目は番号に印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は印の付いたものを適用する。
印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。印と印の付いた場合は共に適用する。

(3) 一般共通事項のうち (1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

項目	特記事項
官公署その他への手続 電気保安技術者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務等を提供する。 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り
電気工事士 工事安全計画書等 発生材の分析及び処理	

14 足場

一般共通事項

10 完成図等

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※ 完成図原図	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ ● 施工図 ● 施工図 (縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図 (縮小版) ● 施工図 ● 施工図 (縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図書 ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本	※ 完成図 (縮小版) ※ 保証書 (写し) ※ 主要機器図 ※ 官公署届出書類 (写し) ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部
※ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

11 他工事との取合い

他工事との取合い	電気設備	機械設備	建築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強 ● スリーブ・箱入 ※	● ●	※ ●
● 鉄骨造の開口及び補強		● ●	※
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		※	● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	● ●
● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 ※ 補強 ●	● ●	※
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み ※ 補強 ●	● ●	※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びピット (蓋を含む)		● ●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ※	●
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		● ※	●
● テレビアンテナ	基礎 アンカーボルト ※	● ●	※ ●
● 天井点検口		● ●	※
● 自立型制御盤の基礎		※ ●	● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 ※ 屋上設置 ●	● ●	※

12 工事用電力・水・その他

13 表示板

工事表示板 ● お願い表示板

14 足場

16 図面

16 図面

17 工事名称

八頭庁舎女性職員用シャワー室設置工事

18 図面番号

E-01

19 一級建築士

来田 信浩 大匠登録 第222819号

株式会社 桜や 建築設計工房

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第05-1220号

A2-A3 (70.7%)

電気設備担当 (有) 福田設備設計 福田洋之

令和8年度 32600268

鳥取県 鳥取市 鳥取県知事登録 第05-1220号

一般共通事項

⑬工事用仮設物

16土工事

⑰電線類

⑱電線本数・管路等

19屋外露出配管の仕上げ

20露出配管の塗装（付属品含む）

21波付硬質合成樹脂管（FEP）

⑳フラッシュプレートの材質

㉑カバープレートの表示

24ブルボックスの塗装

25耐震施工

構内につくことが※できる●できない

埋め戻し土※根切土の中の良質土●山砂の類（）●真砂土（）

建設発生土の処理●構外に搬出し適切に処理※構内敷きならし●構内の指示する場所に堆積

本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めっき付着量300g/m以上〕とする。

塗装する部分●屋上●屋側●屋外●廊下●機械室●居室（）●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

①金属製（ステンレス、新金属も含む）●樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製ブルボックスの塗装※無（素地仕上）●有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量〔kN〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

		●特定の施設		●一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器		2.0	1.5	
	水槽類	1.5	1.0	1.0	
中間階	機器	1.5	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器		1.5	1.0	
	水槽類	1.0	0.6	0.6	
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	0.4
	防振支持の機器		1.0	0.6	
水槽類	1.5			0.6	

上層階の定義2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階
中間階の定義地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器（●配電盤●非常用発電装置●交換装置●直流電源装置●UPS装置●火災報知受信機●中央監視制御装置●通信総合盤●）

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。

26接地極

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
●共同接地	E _A E _D	10Ω以下	EB×3連－2組
●共同接地	E _A E _C E _D	10Ω以下	EB×3連－2組
●A種	E _A	10Ω以下	EB×3連－2組
●B種	E _B	Ω以下	EB×2連－2組
●C種	E _C	10Ω以下	EB×3連－2組
●D種	E _D	100Ω以下	EB×1
●高圧避雷器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連－2組
●交換機用	E _t	Ω以下	EB×3連－1組
●通信用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連－2組
●通信用	E _{Dt} 及びE _{Da}	100Ω以下	EB×1
●電話引込口の保安器用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1
●測定用	E _o	—	EB×1

（連結の場合、EBはD＝14L＝1500またはW＝40L＝1200とする）
（E_o、E_{Dt}、E_{Da}、E_{LH}、E_tの場合、EBはD＝10L＝1000またはW＝30L＝900以上とする）
（その他単独の場合、EBはD＝14L＝1500またはW＝40L＝1200とする）

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章環境配慮改修工事1節石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

●施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

●アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期：測定場所：測定点：）

●洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

●作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（）

一般共通事項

⑳補修など

㉑はつり

㉒はつり工事における非破壊検査

㉓あと施工アンカー

34室内空気中の化学物質の濃度測定

㉔火災保険等

36鳥取県公共事業環境配慮指針

37建築物省エネ法

1）LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色（●昼白色●温白色●電球色）

測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

※設置した各部屋2箇所以上●

明るさセンサによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期100％点灯時（※夜間●昼間）

調光制御点灯時（※夜間※昼間）

※電動機などへの接続は本工事とする。●別途工事

●工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。

●構造体利用接地極●A型接地極●B型接地極

75kVA以上に取付。

●本工事●別途工事

前・後に設置する。

停電補償時間（分）

方式（●常時インバータ給電方式●ラインインタラクティブ方式●常時商用給電方式）

運転時間（h）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

出力（kW）

配電盤外箱（●有●無）

保安装置（重故障項目特記●有●無）

外部用端子（●要●不要）

減圧水槽及び初期注水槽の材質（●鋼板製●ステンレス鋼板製）

オイルタンク（●地下●屋内）

据付：機械設備工事標準図（●施工30、32（タンク室無し）●施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（％）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（●鋼板製●ステンレス製）

燃料油等（●灯油●軽油●重油●燃料ガス（））

排気系統配管断熱材の厚さ（mm）

ばい煙測定口（●設ける●設けない）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（以下）

運転音（dB以下）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

公称最大出力（kW）

耐風速（m/s）

パワーコンディショナ（相線式V）

定格容量（kW）

自立運転機能（●有●無）

表示装置（●有●無）

方式（※液晶●）

系統連系（●高圧連系●高圧受電低圧みなし連系●低圧連系●無）

定格出力（kW）

局線応答方式（●局線中継台方式●分散中継台方式●ダイヤルイン方式●ダイレクトインダイヤル方式●ダイレクトインライン方式）

停電補償時間（分）

※本工事●別途工事

※モジュラージャック●電話用プレート

内線／／回線

局線／／回線（現用／実装／容量）

●一般電話機台●多機能電話機台●ファクシミリ台

●デジタルコードレス電話機台●IP電話機台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

●ボタン電話機（●EM-BTIEE0.4－2P●）（※15m●）

●内線電話機（●EM-TIEF0.65－2C●TIVF0.65－2C）（※15m●）

●多機能電話機（●EM-BTIEE0.4－2P●）（※15m●）

●IP電話機（●EM-UTP0.5－4P●）（※15m●）

イメージスキャナ（●設ける●設けない）

制御装置（●壁掛形●埋込形●据置形）

呼出機能（●有●無）

方式（●発光ダイオード●液晶●）

親時計（●壁掛形回線●ラック形回線）

太陽電池式屋外時計（点灯時間h点灯保証日数日）

光出力（●I形●II形●III形）

解像度（●A形●B形●C形）

コントラスト比（●X形●Y形）

11誘導

⑬火災報知設備

13構内配電線路

14構内通信線路

15テレビ電波受信障害調査

⑩その他

1増幅器

形式（●卓上形●ラック形）

定格出力（W）

性能（●Hi形●Lo形）

●増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。

1音声誘導装置

検出方式（●磁気方式●無線方式●画像認識方式）

①自動火災報知設備

受信機（●型級回線（番機型）●複合形●単独形）

2自動閉鎖設備

●防火戸用（※ラッチ式●電磁式）

●防煙ダンパー用（※電動復帰●手動復帰）

●防火シャッター用（※別途工事●本工事）

3ガス漏れ火災警報設備

検知器（●天井取付形●壁取付形）

1施工方法

埋設深さ※GL－300以上、舗装のある場合は路盤下－300以上とする。

●GL－600以上（●●●）

2地中箱

蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

3高圧負荷開閉器

●閉鎖形（●軽閉鎖形●重閉鎖形）

●地絡継電器付（※方向性●無方向性）

●避雷器内蔵

※別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。

高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。

4高圧ケーブルの端末部

●一般形●耐塩形

5高圧ケーブルの屋外端末処理

※高圧●低圧

6標識シート

7照明用ポール

照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。

1施工方法

埋設深さ※GL－300以上、舗装のある場合は路盤下－300以上とする。

●GL－600以上（●●●）

2地中箱

蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。

3標識シート

●データ回線●電話●CATV●

1調査仕様

図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。

2テレビ電波受信障害調査時期

※事前●中間※事後

3受信する受信波及び地点数

中継局波：地点

中継局波：地点

4報告書提出部数

※事前3部●中間部※事後3部

1機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名称	測点	取付高（mm）	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心1,800～2,000	
	引込開閉器	地上～中心1,800～2,200	
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心1,500（上端1,900以下）	
	スイッチ	〃1,300	
	〃（多機能トイレ）	〃1,100	
	コンセント（一般）	〃300	
	〃（和室）	〃150	
	〃（台上）	台上～中心150	
	〃（土間）	床上～中心800～1,300	
	〃（車椅子用）	〃900	
	ブラケット（一般）	〃2,100～2,300	
	〃（踊場）	〃2,000～2,500	
〃（鏡上）	鏡上端～中心150		
動力	壁掛形制御盤	床上～中心1,500（上端1,900以下）	
	手元開閉器	〃1,500	
	操作スイッチ	〃1,300	
構内交換	端子盤	床上～下端300	
	保安器箱	天井下～上端200	
	壁付アウトレット	床上～中心300	
	〃（和室）	〃150	
電気時計	壁掛形親時計	床上～中心1,500（上限1,900以下）	
	子時計	〃天井高×0.9	
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心天井高×0.9	
	壁付アッテネータ	〃1,300	

2工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

Ⅲ.機材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

㈱永井電機工業所	㈱平木電機産業
小林制御電㈱	㈱富士オートメーション
勝英産業㈱	㈱増岡電機製作所

株式会社桜や建築設計工房

一級建築士事務所鳥取県知事登録第05-1220号

A2～A3（70.7%）

電気設備担当（有）福田設備設計福田洋之

工事名称

八頭庁舎女性職員用シャワー室設置工事

図面名称

電気設備工事特記仕様書(2)

図面番号

E-02

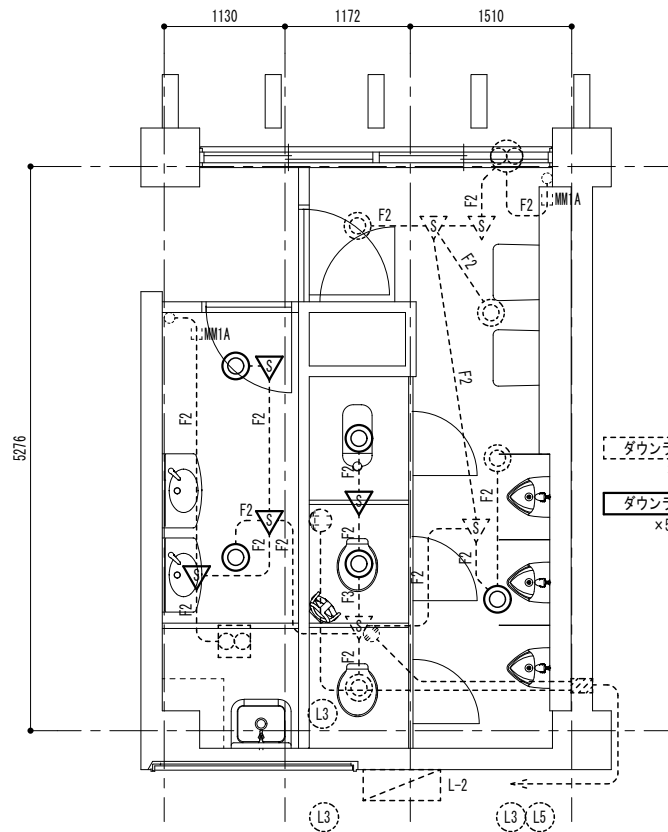
一級建築士

来田信浩

大匠登録第222819号

鳥取県令和8年度J2600206

東部建築住宅事務所



ダウンライト FHT24W
×4 既設のまま

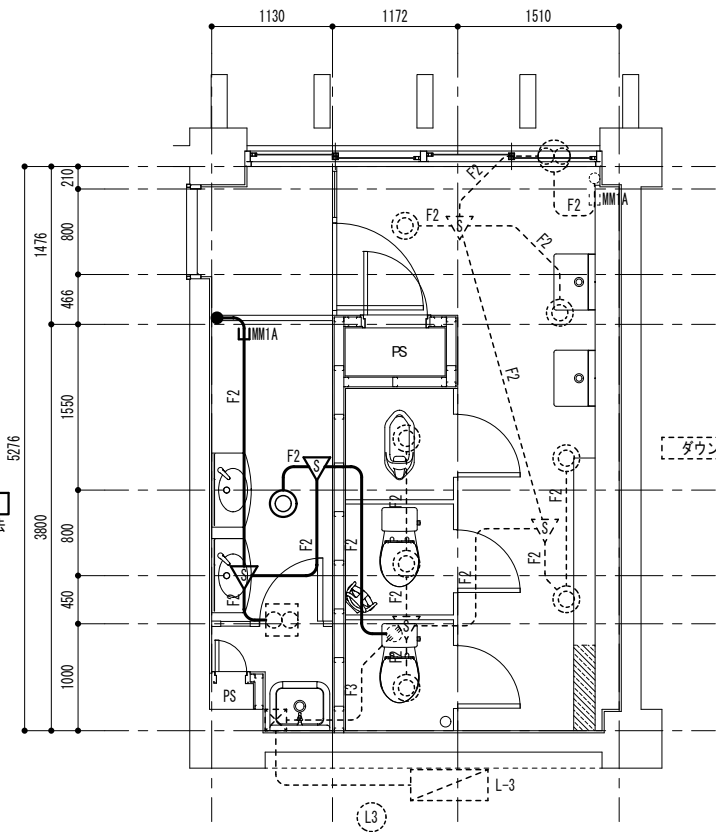
ダウンライト FHT24W
×5 取外し再取付

ダウンライト FHT24W
×1 撤去

1階～2階天井改修図 1/50

※天井解体復旧は建築工事
※天井設置器具取外し再取付は電気設備および機械設備工事

凡例				特記無き場合、下記による
	照明器具	ダウンライト	FHT24W	取外し再取付
	熱線式自動スイッチ			取外し再取付
	換気扇	機械設備工事		取外し再取付
	既設配線			既設のまま
	照明器具			既設のまま
	熱線式自動スイッチ			既設のまま
	タンプススイッチ	1P15A	新金属プレート	既設のまま
	換気扇			既設のまま
	分電盤(既設)	L-2		既設のまま

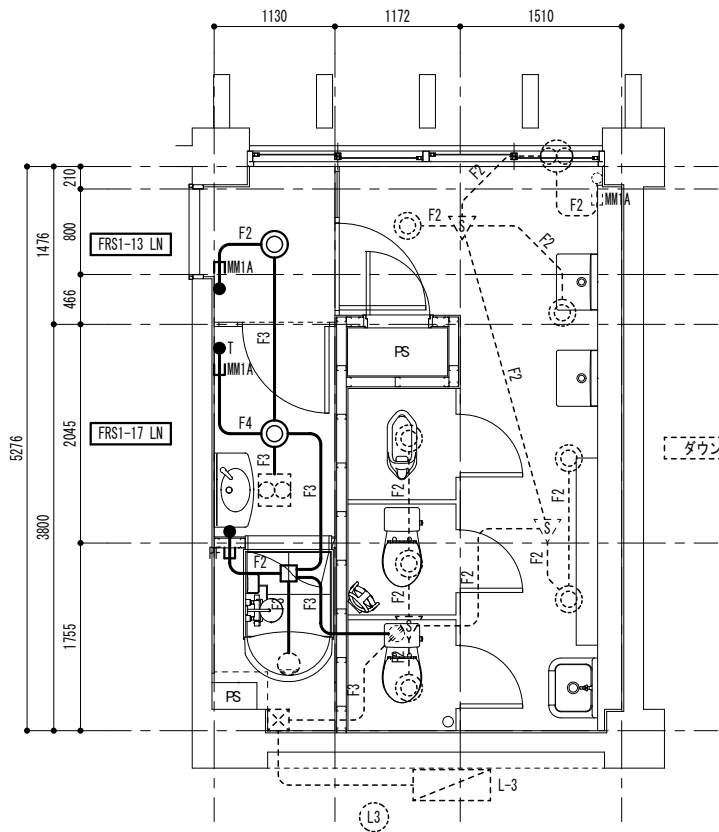


ダウンライト FHT24W
×7

電灯設備 2階～3階配線図(撤去) 1/50

凡例				特記無き場合、下記による
F2	EM-EEF 1.6-3C	天井内隠ぺい		撤去
MM1A	一種金属線び(MM1A)	屋内露出立下げ部分ケーブル保護		撤去
	照明器具	ダウンライト		撤去
	熱線式自動スイッチ			撤去
	タンプススイッチ	1P15A	新金属プレート	撤去
	換気扇	機械設備工事		撤去
	既設配線			既設のまま
	照明器具			既設のまま
	熱線式自動スイッチ			既設のまま
	換気扇			既設のまま
	分電盤(既設)	L-3		既設のまま

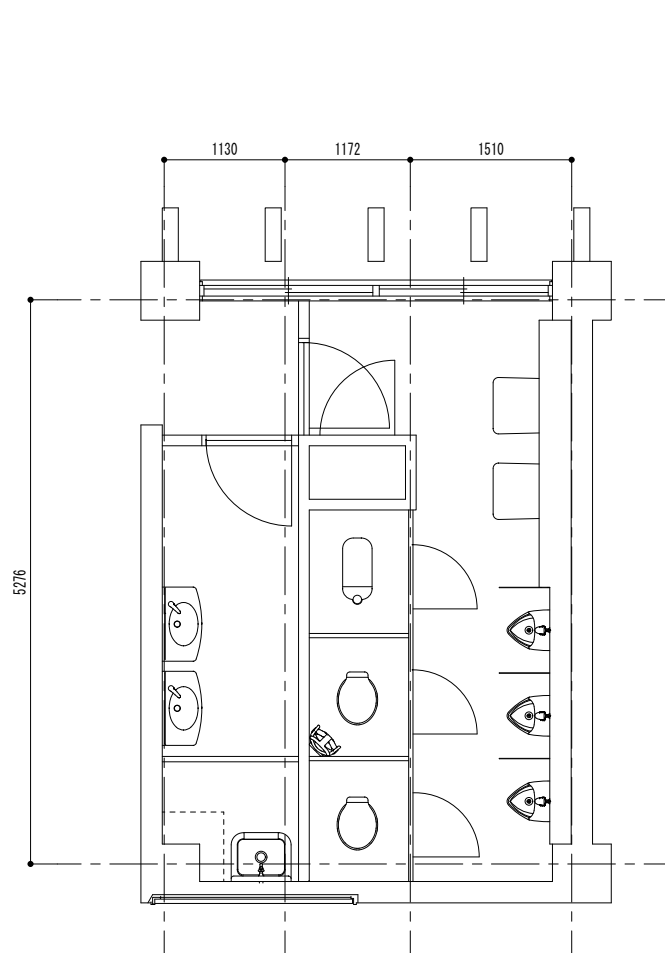
改修



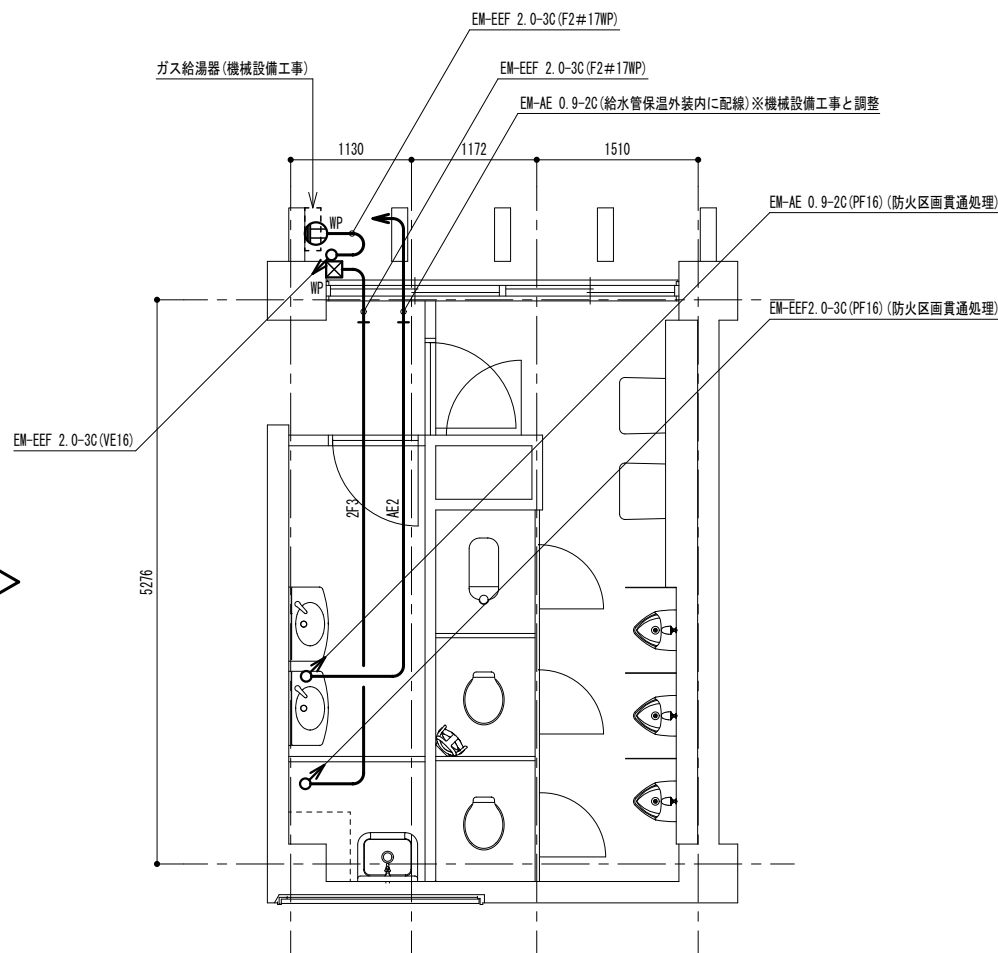
ダウンライト FHT24W
×7

電灯設備 2階～3階配線図(新設) 1/50

凡例				特記無き場合、下記による
F2	EM-EEF 1.6-3C	天井内隠ぺい		新設
F3	EM-EEF 1.6-3C	天井内隠ぺい		新設
MM1A	一種金属線び(MM1A)	屋内露出立下げ部分ケーブル保護		新設
PF	PF16	壁内立下げ		新設
	照明器具	ダウンライト		新設
	タンプススイッチ(ネーム付)	1P15A	新金属プレート	新設
	照明スイッチ+換気扇用タイマ付スイッチ<12時間タイマ>(参考:WTC53936W)		新金属プレート	新設
	アウトレットボックス	D44 VE製		新設
	照明器具	シャワーユニット付属	建築工事	配線接続
	換気扇	機械設備工事		配線接続
	既設配線			既設のまま
	照明器具			既設のまま
	熱線式自動スイッチ			既設のまま
	換気扇			既設のまま
	分電盤(既設)	L-3		既設のまま

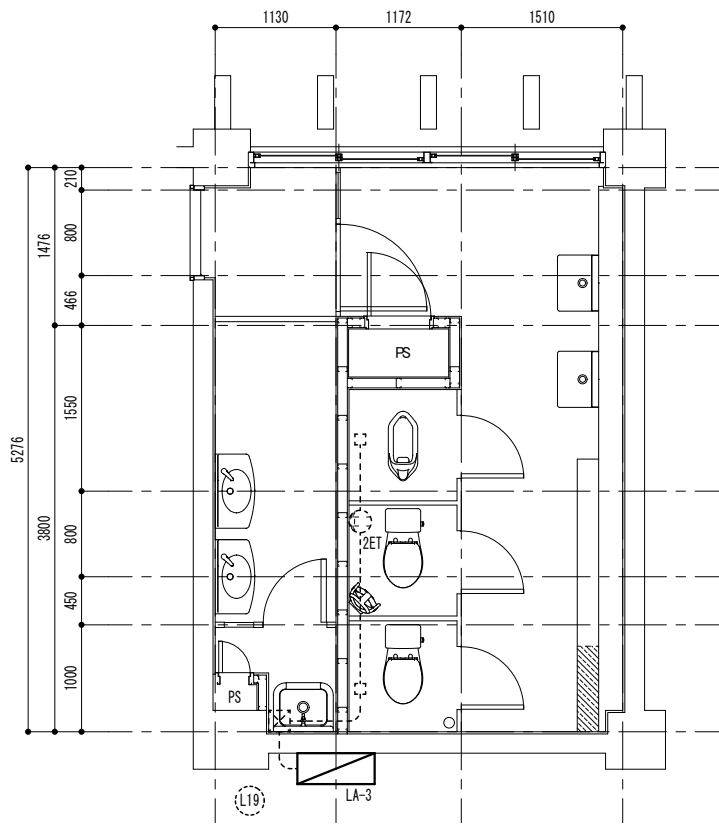


コンセント設備 1階～2階配線図(撤去) 1/50



コンセント設備 1階～2階配線図(新設) 1/50

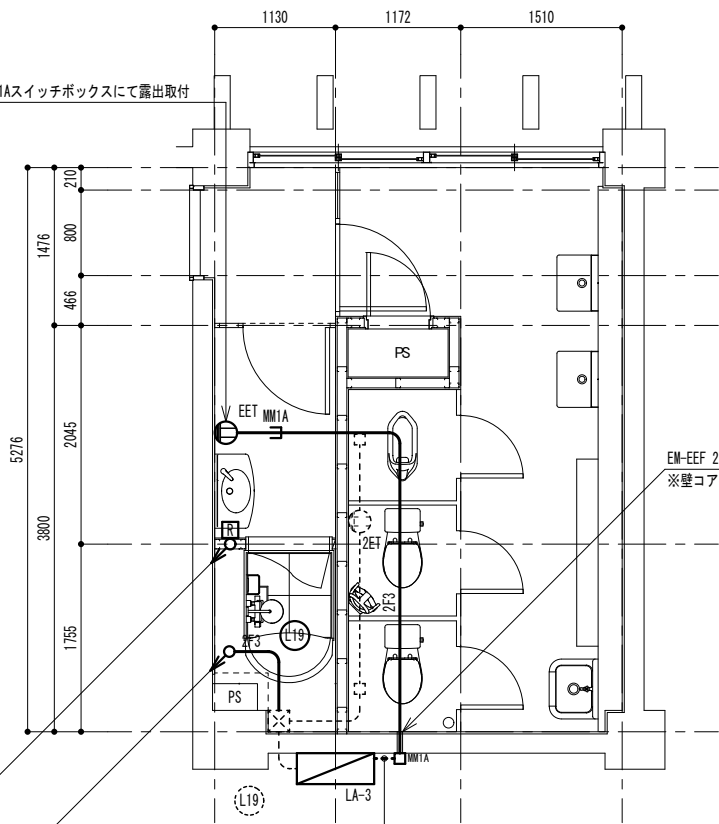
凡例		特記無き場合、下記による		
2F3	EM-EEF 2.0-3C	天井内	立下(PF16)	新設
AE2	EM-AE 0.9-2C	天井内	立下(PF16)	新設
WP	防水コンセント	2P15A, ET	(WP)	新設
WP	ブルボックス(防水)	SS150×150×150WP-SUS		新設



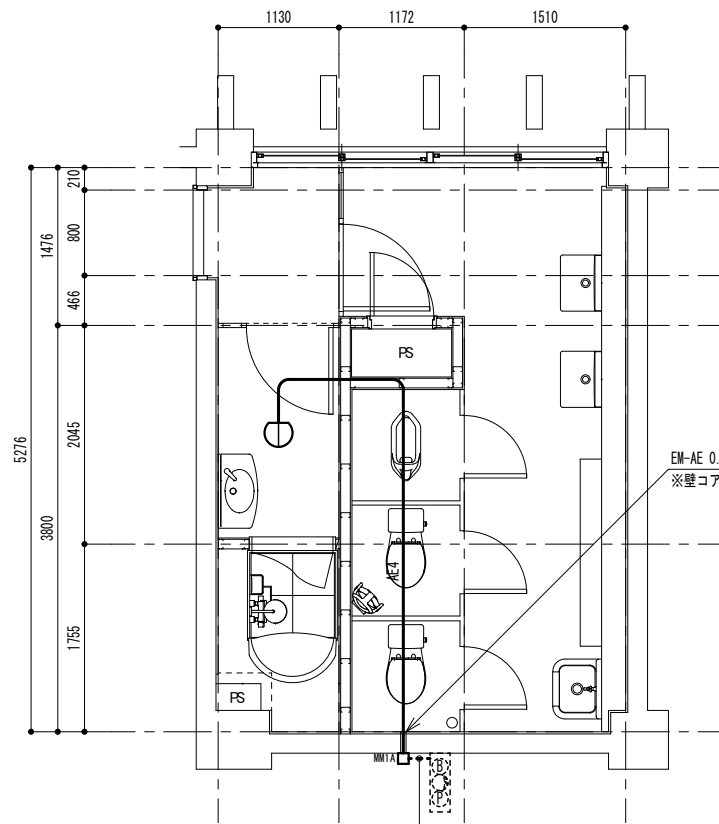
コンセント設備 2階～3階配線図(撤去) 1/50



埋込コンセントをMM1Aスイッチボックスにて露出取付



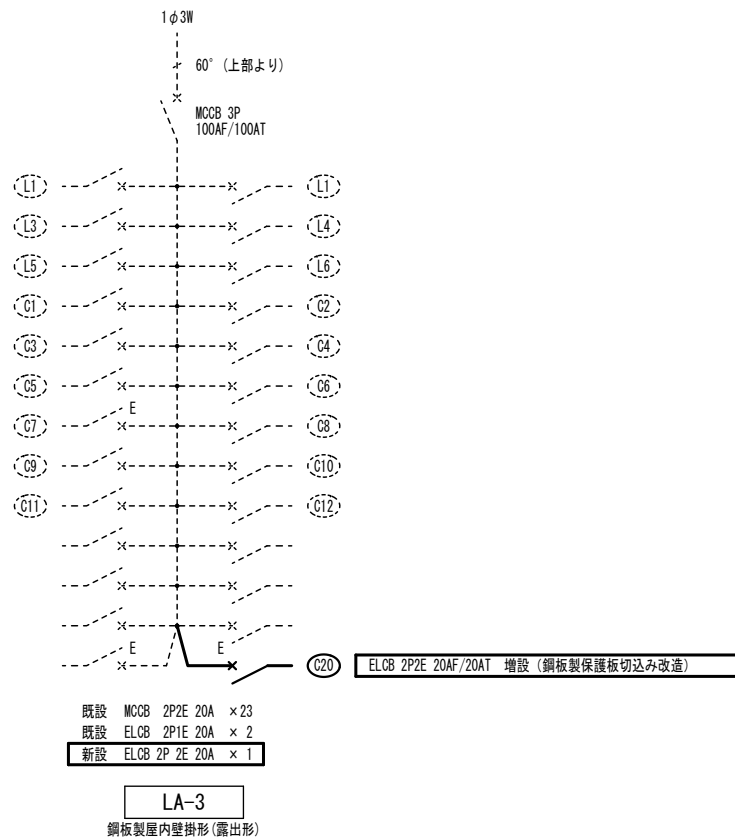
コンセント設備 2階～3階配線図(新設) 1/50



火災報知設備 2階～3階配線図(新設) 1/50

3階廊下

LA-3: 改造



凡例		特記無き場合、下記による		
2F3	EM-EEF 2.0-3C	天井内	立下 (PF16)	新設
---	EM-EEF 2.0-3C	露出	MM1A	新設
AE2	EM-AE 0.9-2C	天井内	立下 (PF16)	新設
AE4	EM-AE 0.9-4C	天井内		新設
---	EM-AE 0.9-4C	露出	MM1A	新設
EET	埋込コンセント(壁付)	2P15A, E×1 ET	新金属プレート	新設
MM1A	ジョイントボックス	MM1A		新設
R	給湯器リモコン	※機械設備工事支給品取付		新設
▽	定温式スポット形感知器	1種	防水型	新設
---	既設配線			既設のまま
2ET	埋込コンセント(壁付)	2P15A, ET	新金属プレート	既設のまま
分電盤	分電盤(既設)	LA-3		改造
分電盤	総合盤			配線分岐

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 八頭郡八頭町郡家 地内

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	八頭庁舎 本館	RC造	3	1,406.13	（ ）項	
2					（ ）項	
3					（ ）項	
4					（ ）項	
5					（ ）項	

3 工 事 種 目 （ ◎ 印の付いたものが対象工事種目）

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空 気 調 和 設 備								
● 冷 暖 房 設 備								
◎ 換 気 設 備	○							
● 排 煙 設 備								
● 自 動 制 御 設 備								
◎ 衛 生 器 具 設 備	○							
◎ 給 水 設 備	○							
◎ 排 水 設 備	○							
◎ 給 湯 設 備	○							
◎ ガ ス 設 備							○	
● 浄 化 槽 設 備								
● 消 火 設 備								
● さ く 井 設 備								
● 電 気 設 備 工 事								
● 建 築 工 事								

4 設 備 概 要 （本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

◎ 印の付いたものを適用する。

	項 目	設 備 概 要
空 気 調 和 ・ 冷 暖 房 設 備	● 空 気 調 和 設 備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	● 冷 暖 房 設 備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
	● 暖 房 設 備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房（ ● 局所式 ● 中央式 ） ● 床暖房
	● 熱 源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主 要 熱 源 機 器		● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直だし吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン（ マルチタイプ ● 有 ● 無 ） ● 温風暖房機 ● F F暖房機 ● その他（ ）
	換 気 設 備	● 第一種 ● 第二種 ◎ 第三種
排 煙 設 備	● 機械排煙（ 適用法規 ● 建基法 ● 消防法 ）	
自 動 制 御 設 備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式	
衛 生 設 備	◎ 給 水 設 備	給 水 方 式 ● 水道直結方式 ◎ 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水 源 ◎ 水道水 ● 井水
	◎ 排 水 設 備	排 水 方 式 ◎ 自然流下 ● ポンプ排水（ ● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水 ）
		放 流 先
		汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雑 排 水 ◎ 公共下水道 ● 浄化槽 雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
	浄 化 槽	処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 処 理 水 放 流 先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	◎ 給 湯 設 備	◎ 局所式（ ◎ ガス ● 油 ● 電気 ） ● 中央式（ ● 油 ● ガス ● 電気 ）
● 消 火 設 備		● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火（ ● 窒素 ● 窒素系 ● ） ● ハロゲン化物消火
	◎ ガ ス 設 備	● 都市ガス（ MJ/Nm ³ ） ◎ 液化石油ガス

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- （1）現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
◎ 印の付いたものによる。
◎ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
◎ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
◎ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

- （2）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和7年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
（3）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- （1）項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は ◎ 印の付いたものを適用する。
◎ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。◎ 印と ※ 印の付いた場合は両方を適用する。
（3）一般共通事項のうち （1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36） 項は、◎ 建 築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

一 般 共 通 事 項

① ②	官 公 署 そ の 他 へ の 手 続 電 気 保 安 技 術 者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査に必要な資機材、労務等を提供する。 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、電気主任技術者の業務を補佐する監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、事業用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。（施設契約電力： kW） 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り（ ） 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り（ ● 石綿含有廃棄物 ● PCB使用機器 ● ） ● 本工事において該当の有無を調査する アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物）は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り（ ● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ● ） 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 使用する機材等が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督職員に提出する。 ただし、J I S、J A S又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合し、認証機関のマークのある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承諾図様式集（令和7年版）を参考とするほか、監督職員の指示による。 機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。 機器類の能力、容量等は、原則として図面に記載されている値以上とする。 電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札（下図参考）を常時着用する。 ◎ 配管 （ ● 1級 ◎ 2級 ） ◎ 熱絶縁施工 （ ● 1級 ◎ 2級 ） ● 冷凍空調和機器施工 （ ● 1級 ● 2級 ） ● 建築板金 （ ● 1級 ● 2級 ）															
③ ④	工 事 安 全 計 画 書 等 発 生 材 の 分 析 及 び 処 理																
⑤ ⑥	機 材 等 機 材 の 品 質 ・ 性 能 証 明																
⑦ ⑧ ⑨	機 材 の 承 諾 図 図 形 等 の 表 示 機 器 の 能 力 ・ 容 量 等																
⑩	技 能 士 の 適 用	《技能士名札参考図》 															
⑪ ⑫	施 工 図 等 完 成 写 真 等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 令和5年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。 <table><tr><th>区 分</th><th>分類・規格</th><th>撮 影 箇 所</th><th>部 数</th><th>電子データの提出</th></tr><tr><td>工 事 写 真</td><td>カラー</td><td>各工程工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>※ 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完 成 写 真</td><td>カラー</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>※ 要 ● 不要</td></tr></table>	区 分	分類・規格	撮 影 箇 所	部 数	電子データの提出	工 事 写 真	カラー	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	※ 要 ● 不要	完 成 写 真	カラー	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	※ 要 ● 不要
区 分	分類・規格	撮 影 箇 所	部 数	電子データの提出													
工 事 写 真	カラー	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	※ 要 ● 不要													
完 成 写 真	カラー	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	※ 要 ● 不要													

一 般 共 通 事 項

⑬ 完 成 図 等	
⑭ 他 工 事 と の 取 合	

他工事との取り合い		建 築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		●	※	
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動開閉装置を付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット（蓋を含む）		※	●	●
● 天井点検口		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		●	●	※

⑮ 工 事 用 水 ・ 電 力 ・ そ の 他
⑯ 表 示 板

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。（寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。）

※ 工事表示板	● お願い表示板
900 1,200 地色 白 地色 マシ記号 SYR6.5/11 地色 白 地色 白 1,200 1,600 地色 白 建 築 工 事 中 工事名 ○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○設計 監理者 ○○株式会社○○建設建設住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○建設 連絡先昼間 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○	1,200 地色 白 地色 マシ記号 SYR6.5/11 地色 白 1,600 地色 白 御通行中の皆様へ 令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する （拡大カラーコピーを張り付けてもよい） 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 事業協力をお願い 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願いします。 施工者 ○○○○○建設 連絡先 T E L ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 T E L ○○-○○○○

記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

⑰ 足 場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない (ア)埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土（ ● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 ） ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ） (イ)建設発生土処分 ● 構外に搬出 ● 構内指定場所に敷ならし ● 構内指定場所に堆積
⑱ 工 事 用 仮 設 物 19 土 工 事	配管、ダクト類の保温種別等は、下記若しくは図示による。 ● 冷温水管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ● 蒸気管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ） ◎ 給水管（ ● ロックウール ● グラスウール ◎ ポリスチレンフォーム ● ） ● 保温チューブ（厚さ⑥ t） ● ● ◎ 排水管（ ● ロックウール ◎ グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ● 空調用ドレン管（ ● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ（厚さ⑥ t） ● ） ● 冷媒管（ ● 冷媒用断熱被覆銅管（JCDA-0009） ● ） ◎ 給湯管（ ● ロックウール ◎ グラスウール ● 保温チューブ（厚さ⑥ t） ● ） ● 消火管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● ） ◎ ダクト（ ● ロックウール ◎ グラスウール ● ） ● 燃焼熱源等機械室内の配管（ ● ロックウール ● グラスウール ● ） ● 全熱交換機の機器外気側ダクト（ ● 給気側 ● 排気側 ）は保温（グラスウール25mm厚）とする。 ● 冷媒管の保温外装 屋内（ ● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● ） 屋外（ ● 樹脂製化粧ケース ● S U S鋼板 ● ）
⑳ 保 温 工 事	



株式会社 桜や 建築設計工房 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第05-1220号	A2-A3 (70.7%) 電気設備担当 (有)福田設備設計 福田洋之	工事名称	八頭庁舎女性職員用シャワー室設置工事		一級建築士 来田 信浩
		図面名称	機械設備工事特記仕様書(1)	図面番号 M-01	大匠登録 第222819号

一般共通事項

21 地中埋設鋼管類の防食措置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29 支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

41 アンカーボルトの引張試験

※標準仕様書（●ベトロラム系 ●ブチルゴム系 ●熱収縮チューブ及びシート）による。●図示による●標準図（施工3）●(1)絶縁フランジ ●(2)絶縁シート ●(3)絶縁スリーブ ●(4)絶縁ユニオン※合成ゴム製（球形） ●ポリテトラフルオロエチレン製 ●ペローズ形（ステンレス製）※ペローズ形 ●スリーブ形※塗装は標準仕様書第2編3. 2及び図示による。残りねじ部及びパイブレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。上記によらず○塗装する部分・箇所（ガス管）●塗装しない部分・箇所（ ）●ガス配管 ●冷水配管 ●冷却水配管非破壊検査の適用（※浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ●放射線透過検査 ●実施しない）抜取率（※標準仕様書による）％●地中埋設標を標準仕様書によるほか図示する箇所に設ける。●埋設表示用テープを埋設する。（●ガス管 ●屋外給水管 ●）ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス（SUS304）製とする。屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（SUS304）製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。●温度 ●湿度 ●風量 ●騒音 ●水量 ●浄化槽放流水質 ●風速 ●じんあい ○飲料水水质（ ●一般飲料水適否検査 ○残留塩素測定） ●その他水質等（ ●雑用水 ●空調用流体 ●）改修標準仕様書 第4章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 土綿含有建材の除去工事による。処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。※官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。●施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。分析調査箇所は下記によるほか図示による。●保温材（●配管 ●機器）（●検体） ●設備用シール材（●パッキン ●ガasket）（●検体） ●断熱材（●検体） ●建築部材（●天井材 ●床材 ●外壁材 ●）（●検体） ●●アスベスト粉じん濃度測定を行う。（測定時期： 測定場所： 測定点： ）●洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。●作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。対象箇所（ ）工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にないらひ補修する。既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。探査方法 ●電磁誘導式または電磁波レーダー法 ●放射線透過検査実施する。工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）グリーン購入は次のものとする。●空調用機器（ ） ●衛生器具（ ） ●断熱材（ ） ●配管材（●再生硬質ポリ塩化ビニル管） ●その他（ ）対象工事対象工事設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。（1）機器の据付け及び取付け設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）〔kN〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	●重要機器	●一般機器	●重要機器	●一般機器
上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの重要機器 ●換気機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●防災機器 ●監視制御設備 ●危険物貯蔵装置 ●火を使用する設備 ●避難経路上に設置する機器 ●水槽類（燃料小出槽を含む） ●（ ）（2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。（3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。設備機器のアンカーボルトについて、施工後に引張試験を行う。試験方法等は（※下記 ●図示）による。試験方法 ●引張試験機による引張試験 ●確認強度 ●対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する短期の引抜き力以上 ●試験箇所数 ●1施工単位に対し1本以上 ●全数 ●対象機器 ●重要機器 ●空調機器 ●熱源機器 ●ポンプ ●換気設備 ●制御盤類 ●

1 空気調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

15 吹出口・吸込口

16 チャンパー等

17 消音内貼り

18 瞬間流量計及び流量測定口

19 定風量・変風量ユニット

20 温度計

21 冷水管の空気抜き

22 空調機用トラップ

23 銅板製煙道

24 オイルサービスタンク

25 地下オイルタンク

26 油面制御装置

27 フィルター等付属品

28 パッケージ空調機的能力表示

29 防振吊り及び支持金物

30 機器の配線・遮断機仕様等

4 排煙設備

5 自動制御設備

1 設計用温湿度条件

2 冷却水管

3 冷水・温水・冷水水管

4 膨張・空気抜き・補給水管

5 蒸気給気管

6 蒸気還水管

7 油・油用通気管

8 冷媒管

9 空調用給水管

10 空調用ドレン管

11 弁類

12 ファンコイルユニット

13 ダンパー

14 ダクト

15 吹出口・吸込口

16 チャンパー等

17 消音内貼り

18 瞬間流量計及び流量測定口

19 定風量・変風量ユニット

20 温度計

21 冷水管の空気抜き

22 空調機用トラップ

23 銅板製煙道

24 オイルサービスタンク

25 地下オイルタンク

26 油面制御装置

27 フィルター等付属品

28 パッケージ空調機的能力表示

29 防振吊り及び支持金物

30 機器の配線・遮断機仕様等

1 外気条件

2 室内（調整目標値）

3 一般

4 温度

5 湿度

6 温度

7 湿度

8 温度

9 湿度

10 夏季

11 冬季

12 外気条件

13 室内（調整目標値）

14 一般

15 温度

16 湿度

17 温度

18 湿度

19 温度

20 湿度

21 夏季

22 冬季

23 外気条件

24 室内（調整目標値）

25 一般

26 温度

27 湿度

28 温度

29 湿度

30 温度

31 湿度

32 夏季

33 冬季

34 外気条件

35 室内（調整目標値）

36 一般

37 温度

38 湿度

39 温度

40 湿度

41 温度

42 湿度

43 夏季

44 冬季

45 外気条件

46 室内（調整目標値）

47 一般

48 温度

49 湿度

50 温度

51 湿度

52 温度

53 湿度

54 夏季

55 冬季

56 外気条件

57 室内（調整目標値）

58 一般

59 温度

60 湿度

61 温度

62 湿度

63 温度

64 湿度

65 夏季

66 冬季

67 外気条件

68 室内（調整目標値）

69 一般

70 温度

71 湿度

72 温度

73 湿度

74 温度

75 湿度

76 夏季

77 冬季

78 外気条件

79 室内（調整目標値）

80 一般

81 温度

82 湿度

83 温度

84 湿度

85 温度

86 湿度

87 夏季

88 冬季

89 外気条件

90 室内（調整目標値）

91 一般

92 温度

93 湿度

94 温度

95 湿度

96 温度

97 湿度

98 夏季

99 冬季

100 外気条件

101 室内（調整目標値）

102 一般

103 温度

104 湿度

105 温度

106 湿度

107 温度

108 湿度

109 夏季

110 冬季

111 外気条件

112 室内（調整目標値）

113 一般

114 温度

115 湿度

116 温度

117 湿度

118 温度

119 湿度

120 夏季

121 冬季

122 外気条件

123 室内（調整目標値）

124 一般

125 温度

126 湿度

127 温度

128 湿度

129 温度

130 湿度

131 夏季

132 冬季

133 外気条件

134 室内（調整目標値）

135 一般

136 温度

137 湿度

138 温度

139 湿度

140 温度

141 湿度

142 夏季

143 冬季

144 外気条件

145 室内（調整目標値）

146 一般

147 温度

148 湿度

149 温度

150 湿度

151 温度

152 湿度

153 夏季

154 冬季

155 外気条件

156 室内（調整目標値）

157 一般

158 温度

159 湿度

160 温度

161 湿度

162 温度

163 湿度

164 夏季

165 冬季

166 外気条件

167 室内（調整目標値）

168 一般

169 温度

170 湿度

171 温度

172 湿度

173 温度

174 湿度

175 夏季

176 冬季

177 外気条件

178 室内（調整目標値）

179 一般

180 温度

181 湿度

182 温度

183 湿度

184 温度

185 湿度

186 夏季

187 冬季

188 外気条件

189 室内（調整目標値）

190 一般

191 温度

192 湿度

193 温度

194 湿度

195 温度

196 湿度

197 夏季

198 冬季

199 外気条件

200 室内（調整目標値）

201 一般

202 温度

203 湿度

204 温度

205 湿度

206 温度

207 湿度

208 夏季

209 冬季

210 外気条件

211 室内（調整目標値）

212 一般

213 温度

214 湿度

215 温度

216 湿度

217 温度

218 湿度

219 夏季

220 冬季

221 外気条件

222 室内（調整目標値）

223 一般

224 温度

225 湿度

226 温度

227 湿度

228 温度

229 湿度

230 夏季

231 冬季

232 外気条件

233 室内（調整目標値）

234 一般

235 温度

236 湿度

237 温度

238 湿度

239 温度

240 湿度

241 夏季

242 冬季

243 外気条件

244 室内（調整目標値）

245 一般

246 温度

247 湿度

248 温度

249 湿度

250 温度

251 湿度

252 夏季

253 冬季

254 外気条件

255 室内（調整目標値）

256 一般

257 温度

258 湿度

259 温度

260 湿度

261 温度

262 湿度

263 夏季

264 冬季

265 外気条件

266 室内（調整目標値）

267 一般

268 温度

269 湿度

270 温度

271 湿度

272 温度

273 湿度

274 夏季

275 冬季

276 外気条件

277 室内（調整目標値）

278 一般

279 温度

280 湿度

281 温度

282 湿度

283 温度

284 湿度

285 夏季

286 冬季

287 外気条件

288 室内（調整目標値）

289 一般

290 温度

291 湿度

292 温度

293 湿度

294 温度

295 湿度

296 夏季

297 冬季

298 外気条件

299 室内（調整目標値）

300 一般

301 温度

302 湿度

303 温度

304 湿度

305 温度

306 湿度

307 夏季

308 冬季

309 外気条件

310 室内（調整目標値）

311 一般

312 温度

313 湿度

314 温度

315 湿度

316 温度

317 湿度

318 夏季

319 冬季

320 外気条件

321 室内（調整目標値）

322 一般

323 温度

324 湿度

325 温度

326 湿度

327 温度

328 湿度

329 夏季

330 冬季

331 外気条件

332 室内（調整目標値）

333 一般

334 温度

335 湿度

336 温度

337 湿度

338 温度

339 湿度

340 夏季

341 冬季

342 外気条件

343 室内（調整目標値）

344 一般

345 温度

346 湿度

347 温度

348 湿度

349 温度

350 湿度

351 夏季

352 冬季

353 外気条件

354 室内（調整目標値）

355 一般

356 温度

357 湿度

358 温度

359 湿度

360 温度

361 湿度

362 夏季

363 冬季

364 外気条件

365 室内（調整目標値）

366 一般

367 温度

368 湿度

369 温度

370 湿度

371 温度

372 湿度

373 夏季

374 冬季

375 外気条件

376 室内（調整目標値）

377 一般

378 温度

379 湿度

380 温度

381 湿度

382 温度

383 湿度

384 夏季

385 冬季

386 外気条件

387 室内（調整目標値）

388 一般

389 温度

390 湿度

391 温度

392 湿度

393 温度

394 湿度

395 夏季

396 冬季

397 外気条件

398 室内（調整目標値）

399 一般

400 温度

401 湿度

402 温度

403 湿度

404 温度

405 湿度

406 夏季

407 冬季

408 外気条件

409 室内（調整目標値）

410 一般

411 温度

412 湿度

413 温度

414 湿度

415 温度

416 湿度

417 夏季

418 冬季

419 外気条件

420 室内（調整目標値）

421 一般

422 温度

423 湿度

424 温度

425 湿度

426 温度

427 湿度

428 夏季

429 冬季

430 外気条件

431 室内（調整目標値）

432 一般

433 温度

434 湿度

435 温度

436 湿度

437 温度

438 湿度

439 夏季

440 冬季

441 外気条件

442 室内（調整目標値）

443 一般

444 温度

445 湿度

446 温度

447 湿度

448 温度

449 湿度

450 夏季

451 冬季

452 外気条件

453 室内（調整目標値）

454 一般

455 温度

456 湿度

457 温度

458 湿度

459 温度

460 湿度

461 夏季

462 冬季

463 外気条件

464 室内（調整目標値）

465 一般

466 温度

467 湿度

468 温度

469 湿度

470 温度

471 湿度

472 夏季

473 冬季

474 外気条件

475 室内（調整目標値）

476 一般

477 温度

478 湿度

479 温度

480 湿度

481 温度

482 湿度

483 夏季

484 冬季

485 外気条件

486 室内（調整目標値）

487 一般

488 温度

489 湿度

490 温度

491 湿度

492 温度

493 湿度

494 夏季

495 冬季

496 外気条件

497 室内（調整目標値）

498 一般

499 温度

500 湿度

501 温度

502 湿度

503 温度

504 湿度

505 夏季

506 冬季

507 外気条件

508 室内（調整目標値）

509 一般

510 温度

511 湿度

512 温度

513 湿度

514 温度

515 湿度

516 夏季

517 冬季

518 外気条件

519 室内（調整目標値）

520 一般

521 温度

522 湿度

523 温度

524 湿度

525 温度

526 湿度

527 夏季

528 冬季

529 外気条件

530 室内（調整目標値）

531 一般

532 温度

533 湿度

534 温度

535 湿度

536 温度

537 湿度

538 夏季

539 冬季

540 外気条件

541 室内（調整目標値）

542 一般

543 温度

544 湿度

545 温度

546 湿度

547 温度

548 湿度

549 夏季

550 冬季

551 外気条件

552 室内（調整目標値）

553 一般

554 温度

555 湿度

556 温度

557 湿度

558 温度

559 湿度

560 夏季

561 冬季

562 外気条件

563 室内（調整目標値）

564 一般

565 温度

566 湿度

567 温度

568 湿度

569 温度

570 湿度

571 夏季

572 冬季

573 外気条件

574 室内（調整目標値）

575 一般

576 温度

577 湿度

578 温度

579 湿度

580 温度

581 湿度

582 夏季

583 冬季

584 外気条件

585 室内（調整目標値）

586 一般

587 温度

588 湿度

589 温度

590 湿度

591 温度

592 湿度

593 夏季

594 冬季

595 外気条件

596 室内（調整目標値）

597 一般

598 温度

599 湿度

600 温度

601 湿度

602 温度

603 湿度

604 夏季

605 冬季

606 外気条件

607 室内（調整目標値）

608 一般

609 温度

610 湿度

611 温度

612 湿度

613 温度

614 湿度

615 夏季

616 冬季

617 外気条件

618 室内（調整目標値）

619 一般

620 温度

621 湿度

622 温度

623 湿度

624 温度

625 湿度

626 夏季

627 冬季

628 外気条件

629 室内（調整目標値）

630 一般

631 温度

632 湿度

633 温度

634 湿度

635 温度

636 湿度

637 夏季

638 冬季

639 外気条件

640 室内（調整目標値）

641 一般

642 温度

643 湿度

644 温度

645 湿度

646 温度

647 湿度

648 夏季

649 冬季

650 外気条件

651 室内（調整目標値）

652 一般

653 温度

654 湿度

655 温度

656 湿度

657 温度

658 湿度

659 夏季

660 冬季

661 外気条件

662 室内（調整目標値）

663 一般

664 温度

665 湿度

666 温度

667 湿度

668 温度

669 湿度

670 夏季

671 冬季

672 外気条件

673 室内（調整目標値）

674 一般

675 温度

676 湿度

677 温度

678 湿度

679 温度

680 湿度

681 夏季

682 冬季

683 外気条件

684 室内（調整目標値）

685 一般

686 温度

687 湿度

688 温度

689 湿度

690 温度

691 湿度

692 夏季

693 冬季

694 外気条件

695 室内（調整目標値）

696 一般

697 温度

698 湿度

699 温度

700 湿度

701 温度

702 湿度

703 夏季

704 冬季

705 外気条件

706 室内（調整目標値）

707 一般

708 温度

709 湿度

710 温度

711 湿度

712 温度

713 湿度

714 夏季

715 冬季

716 外気条件

717 室内（調整目標値）

718 一般

719 温度

720 湿度

721 温度

722 湿度

723 温度

724 湿度

725 夏季

726 冬季

727 外気条件

728 室内（調整目標値）

729 一般

730 温度

731 湿度

732 温度

733 湿度

734 温度

735 湿度

736 夏季

737 冬季

738 外気条件

739 室内（調整目標値）

740 一般

741 温度

742 湿度

743 温度

744 湿度

745 温度

746 湿度

747 夏季

748 冬季

749 外気条件

750 室内（調整目標値）

751 一般

752 温度

753 湿度

754 温度

755 湿度

756 温度

757 湿度

758 夏季

759 冬季

760 外気条件

761 室内（調整目標値）

762 一般

763 温度

764 湿度

765 温度

766 湿度

767 温度

768 湿度

769 夏季

770 冬季

771 外気条件

772 室内（調整目標値）

773 一般

774 温度

775 湿度

776 温度

777 湿度

778 温度

779 湿度

780 夏季

781 冬季

782 外気条件

783 室内（調整目標値）

784 一般

785 温度

786 湿度

787 温度

788 湿度

789 温度

790 湿度

791 夏季

792 冬季

793 外気条件

794 室内（調整目標値）

795 一般

796 温度

797 湿度

798 温度

799 湿度

800 温度

801 湿度

802 夏季

803 冬季

804 外気条件

805 室内（調整目標値）

806 一般

807 温度

808 湿度

809 温度

810 湿度

811 温度

812 湿度

813 夏季

814 冬季

815 外気条件

816 室内（調整目標値）

817 一般

818 温度

819 湿度

820 温度

821 湿度

822 温度

823 湿度

824 夏季

825 冬季

826 外気条件

827 室内（調整目標値）

828 一般

829 温度

830 湿度

831 温度

832 湿度

833 温度

834 湿度

835 夏季

836 冬季

837 外気条件

838 室内（調整目標値）

839 一般

840 温度

841 湿度

842 温度

843 湿度

844 温度

845 湿度

846 夏季

847 冬季

848 外気条件

849 室内（調整目標値）

850 一般

851 温度

852 湿度

853 温度

854 湿度

855 温度

856 湿度

857 夏季

858 冬季

859 外気条件

860 室内（調整目標値）

861 一般

862 温度

863 湿度

864 温度

865 湿度

866 温度

867 湿度

868 夏季

869 冬季

870 外気条件

871 室内（調整目標値）

872 一般

873 温度

874 湿度

875 温度

876 湿度

877 温度

878 湿度

879 夏季

880 冬季

881 外気条件

882 室内（調整目標値）

883 一般

884 温度

885 湿度

886 温度

887 湿度

888 温度

889 湿度

890 夏季

891 冬季

892 外気条件

893 室内（調整目標値）

894 一般

895 温度

896 湿度

897 温度

898 湿度

899 温度

900 湿度

901 夏季

902 冬季

903 外気条件

904 室内（調整目標値）

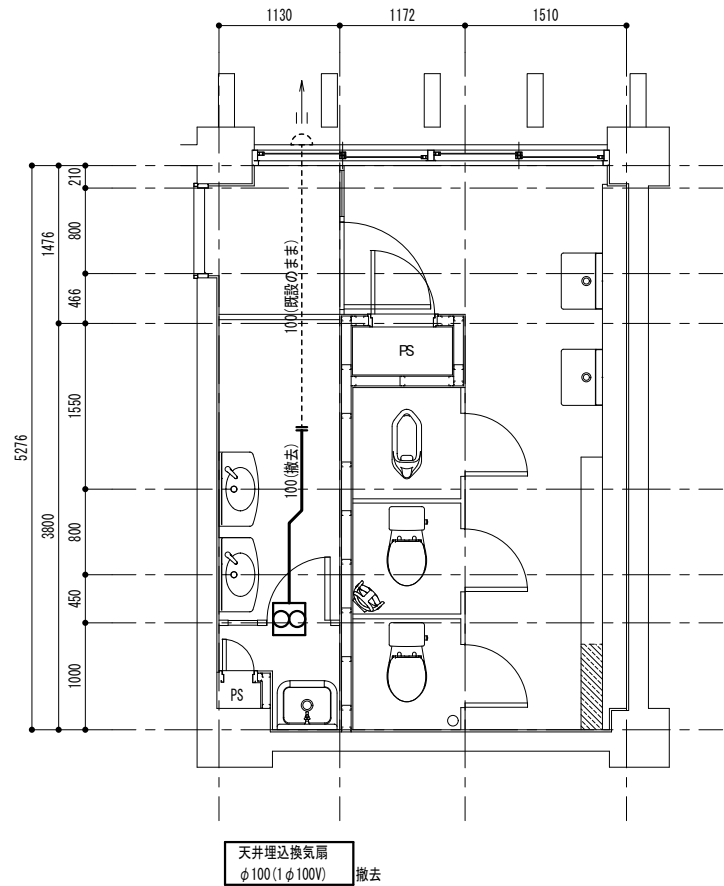
905 一般

906 温度

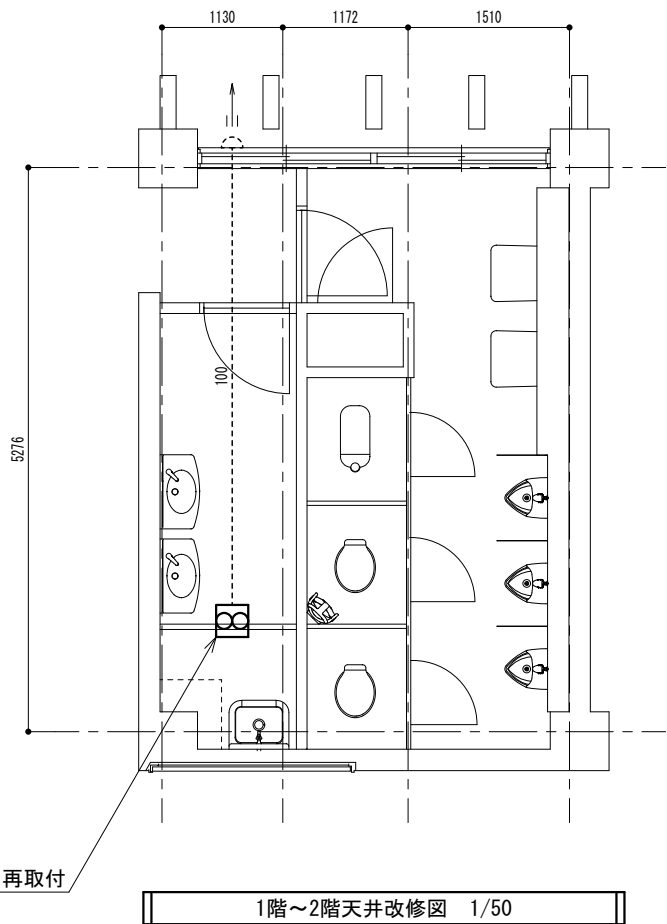
907 湿度

908

撤去

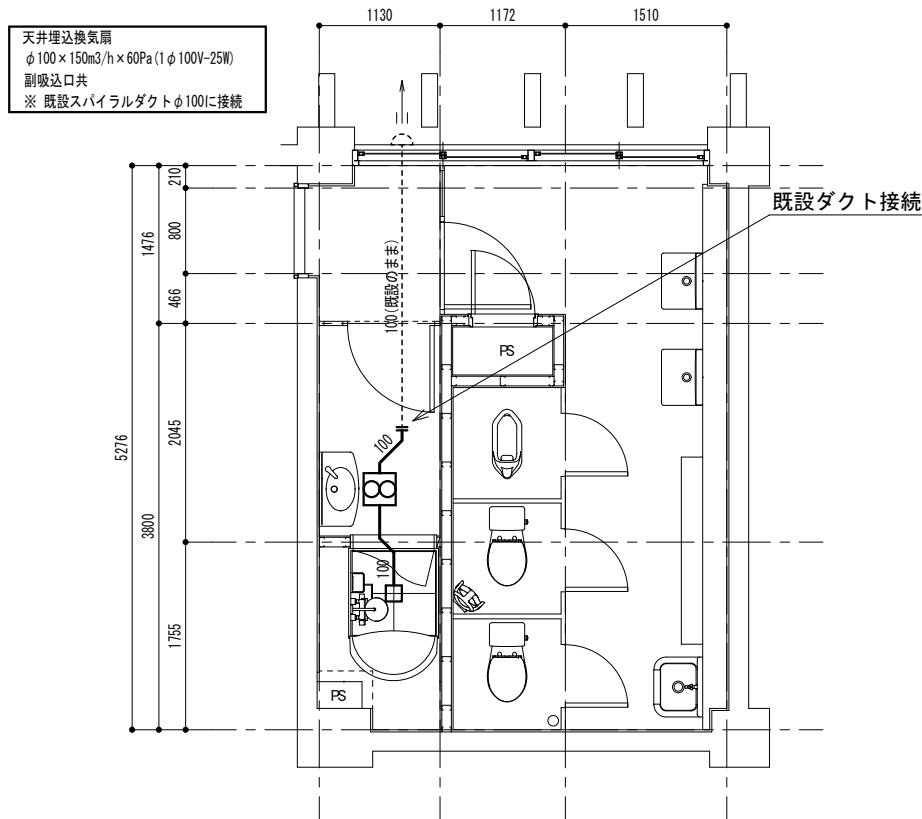


換気設備 2階～3階ダクト図(撤去) 1/50



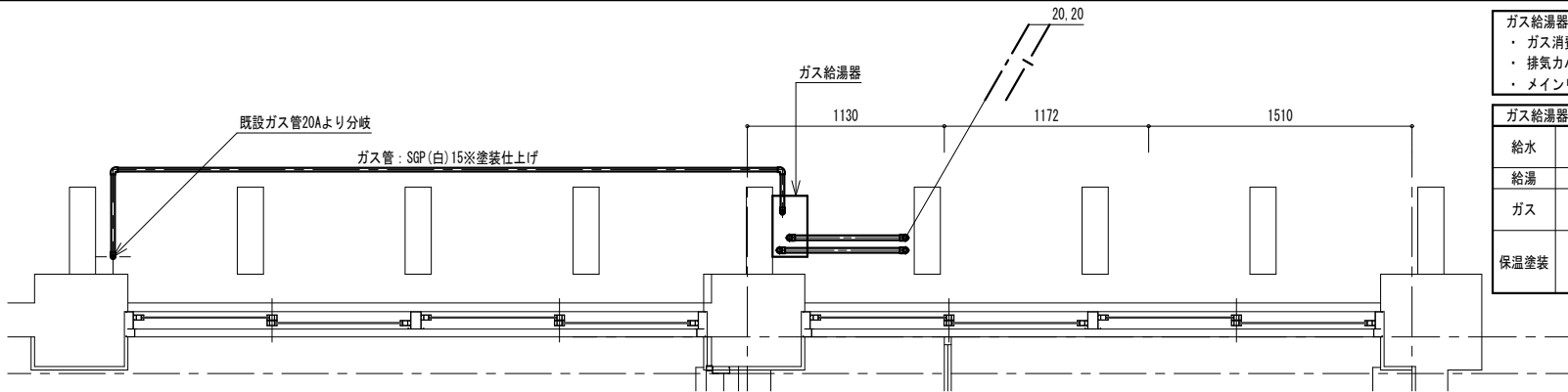
1階～2階天井改修図 1/50

新設



換気設備 2階～3階ダクト図(新設) 1/50

改修



ガス給湯器(屋外壁掛型20号)
・ガス消費量42kW、1φ100V-42W(ヒーター作動時125W)
・排気カバー、配管カバー(参考寸法:900H)
・メインリモコン

ガス給湯器廻り配管付属品等		
給水	逆止弁付ボール弁	20
給湯	水道用フレキチューブ(300L)	20
ガス	水道用フレキチューブ(300L)	20
	ガス中間バルブ	15
保温塗装	ガス用金属フレキホース(300L)	15
	給水: ポリスチレン 厚20mm (SUS外装)	
	給湯: グラスウール 厚20mm (SUS外装)	
	ガス: 塗装仕上げ	

給排水衛生設備 1階～2階配管図(改修後) 1/50

